

越 中 立 山
岩 峴 寺 文 書 集 成 目 録

平 成 1 0 年 3 月

富 山 県 立 山 町 教 育 委 員 会

刊行のことば

立山町教育委員会

教育長 堀 田 實

立山は 申すまでもなく むかしから越中の象徴であり信仰の霊場
であります。その経営を中心的に進めて来たのが麓の岩峯寺・芦峯寺
二つのむらの人々で、永年の足跡をしるした幾多の古文書は富山県の
文化財にも指定されています。

近年 これ等の資料の解明によって、立山の歴史がより深くひも解
かれつつあります。一方岩峯寺関係については、旧坊家等にさらに多
くの古記録が保存されていることもわかり、その解明が待たれる状況
になってきています。

立山町郷土資料館では 雄山神社前立社壇や各坊家の皆様のご協力を
いただき、それぞれの文書目録を作成する作業を進めてきました。
その過程で各文書に種々の関連が多くあることが明らかになり、平成
9年度事業として一括した『集成目録』を作成する運びとなったわけ
であります。

この目録が立山の古今のすがたを解明していく一里塚のいくつめか
になることを念願します。永年にわたって大切な古文書を承継ぎ護っ
ておいでになった皆様に今回この資料づくりにご賛同ご協力いただい
たことも併せて深く敬意と謝意を表します。

目 次

・ 刊行のことば	
・ 解 説	1
・ 凡 例	4
・ 文書目録	
1. 近世、寺社・衆徒関係	5
2. 近世、村・草高・年貢関係	40
3. 近代、社寺・神職関係	51
4. 近代、戸長役場・村・家関係	64
5. 絵図・版物類	69

解 説

1. 『岩峯寺文書集成目録』作成の経緯

越中立山の文書資料には、まず1962年に木倉豊信氏によって整理公刊されたものがある。これは、芦峯寺^{いっさん}一山会所蔵文書 327点、岩峯寺雄山神社^{まえだてしやだん}前立社壇文書 481点を『越中立山古文書』と題し、立山開発鉄道株式会社から発行された。

その後1975年頃、立山町が立山町史編集事業を進めた際、旧坊家所蔵文書についてもかなり把握し、一部は町史に所載された。また芦峯寺一山会所蔵の古記録64点について1990～92年に広瀬誠・高瀬保両氏の解説・校注により、『越中立山古記録』として発刊されたものがある。

1995年4月に開館した立山町郷土資料館では、地域資料の調査整理事業の一つとして、岩峯寺旧坊家の文書調査を進めた。岩峯寺は芦峯寺と共に古来立山信仰の拠点であった。とりわけ岩峯寺二十四坊は、藩政時代には立山別当^{べつどう}として峰本社や室堂、諸末社等の経営を進めてきた。そして明治維新の大変革があり、さらに130年を経過して今日の立山があり、雄山神社の姿がある。これらについての具体的資料として岩峯寺旧坊家文書は重要であり、当資料館では1996・7年にわたって延命院^{えんめい}・多賀坊^{たが}・中道坊^{ちゅうどう}・般若院^{はんにや}・前立社壇追加整理文書、それぞれの目録を作成した。各旧坊家文書には、立山別当文書や雄山神社 或いは岩峯寺村についての記録がかなりあり、また同一事件の文書が分散所蔵されている場合もある。それで一括対照整理の必要が感じられ、冒頭の前立社壇所蔵文書も合わせて『岩峯寺文書集成目録』を作成した。活用の利便性からみれば、解説・校注を完了し公刊されることが望まれるが、これについては多大の経費と時間を要することでもあり、改めての機会を待ちたい。

2. 近世、寺社・衆徒関係文書について

岩峯寺文書には近世以前のもものが極めて乏しい。このことについては『由来書上帳』^{ゆらいかきあげ}等に「戦国之時分凶賊之放火ニテ焼失仕申…」と述べられているように、戦国の兵火によって灰燼に帰したものがかなりあるとみられる。僅かに残る『針原公文給帳』^{はりはらくもんきゅうちやう}明応元年（1492）の表紙が焼け焦げているのが象徴的である。

加賀藩の支配になって発給された前田利家・利長・利光（利常）三代の寄進状は岩峯寺文書の第一級に類するものである。但しその原本は岩峯寺には無く、明治2年（1869）に提出したまま、現在は金沢市成巽閣^{せいそんかく}に保管されている。

藩政時代の岩峯寺（立山寺）は、藩の祈祷所の一つであった。歴代藩主や室・子・重臣・江戸の将軍について病氣平癒や平産・厄歳^{やくとし}・参府の道中安全・請雨止雨^{じやうじゆ}・五穀成就等の祈祷指示状や祈祷料授受の書状が多い。五代藩主綱紀（幼名、犬千代）については、寛永20年（1643）生母大姫懐胎時に始まり、若子誕生、疱瘡平癒、元服までの月々祈祷があった。天明5年（1785）の大飢饉以降、毎年春日日に五穀成就の祈祷を二夜三日行い札等を献上し、白銀五枚を授かることが慶応4年（1868）まで恒例であった。

峰本社については、破損が認められると直ちに別当僧^{べつどう}から寺社奉行へ注進状を送り、更に修覆の嘆願状を出す。藩からは検分や着工について指示や連絡状が届き、工事が進行すると遷宮

に関する書状が往復する。藩政の期間中に峰本社の改築は14回なされたと推察されるが、文書記録の殆ど残っていない例や十数点残っている例、一部始終を衆徒が書き残している例もある。室堂の改修は多くの場合、峰本社の改修時に部分的になされたようである。特筆される記録では、嘉永6年（1853）から明治2年（1869）までの間に室堂改築について30数通の注進・嘆願・催促の書状を出した例がある。この場合は、慶応2年（1866）に用材が伐採され翌3年に運送されたのみで、改修工事されずに明治維新を迎えることになった。

峰本社や室堂の他に、藩が直営で行う修覆物の一つに湯起釜ゆだちがあった。これは4月8日の祭礼神事に用いられたもので、藩政時代最後に修覆されたのは弘化2年（1845）3月で、岩峯寺が銀60目で請負い、高岡鋳物師金森彦兵衛に発注して鋳造された。

立山には、峰・麓に66社の堂社があった。その修覆は藩が直営で行うものが9社で、残る57社は別当の自普請所で、それに要する経費は衆徒の大きな負担であった。藩に願い出て浄財を募る手段として、萬人講まんじんこうや相對勸化あいたいかんげ・出開帳でかいちようを催した。出開帳の記録としてまとまっているのは、文久2年（1862）秋から元治元年（1864）秋の3年間5期にかけて加越能三ヶ国及び富山領内計22ヶ寺を宿寺に110日間にわたるものである。安政5年（1858）の大震災によって大被害を受けた諸末社修覆のため、先ず萬延元年（1860）5月領国中の惣勸化そうかんげ或いは萬人講をと願い出たが認められず、文久2年（1862）7月になって出開帳が許された。各宿寺とは出開帳取極書とりきめ・開帳中定書さだめがきを交した。移動に際しては沿道の村から人馬つぎたて継立することが認められた。開帳佛は、浄土山阿弥陀如来・別山帝釈天王・真砂嶽子安聖観音・地獄谷地蔵尊・血池地獄如意輪にょいりん観音の五尊であった。説明に用いる『立山開帳靈佛略縁起』が草され、頒布用の『越中国立山大権現略縁起（木版）』も再版された。しかし世情不穩で参詣者が少なく、諸品高価で雑費がかさみ、成果は乏しく諸堂修覆は行きわたらなかった。

立山参詣路の中間点にあたる桑谷くわたにには番小屋があり、禅定期間中は室堂と同様に役僧と炊事人足が常駐した。参詣者の湯茶接待や体調不調者の介抱休泊・不審な登山者の取締りを行った。天保2年（1831）には、この小屋での宿泊受入れは嚴重差止めになった。

各坊家が個々に廻る配札地域は区分されていたとみられるが、総体的な記録は未詳である。弘化・嘉永年代に中道坊と般若院が加賀石川郡を分担していた際の廻檀帳かいだんは貴重な例である。

岩峯寺に残る立山縁起書の類は数種あり、その中で原典に近いものは『立山小縁起』とみられる。これには「大縁起に依って粗に演述した」旨が記されているので、原典の大縁起があることが推察される。『立山縁起』と題した縁起書は、原典を要約抄述したものに加えて、十所王子や十二光佛・地獄の部分じよっしょを附加している。明治年代に入って編述されたとみられるものに『立山社記』がある。

立山信仰は修験の流れを汲み、神佛習合の様相を持っている。法系については天台宗と称している例もあるが、僧位を天台系（花山院）、真言系（勤修寺）それぞれから授かっている例もある。衆徒としての加行けぎようや灌頂かんじよう・勤行こんぎようの作法等は立山の独自性を持っていたとみられる。

3. 近世、村・高・年貢関係文書について

岩峯寺の衆徒は、加賀藩寺社奉行の支配を受ける一方で、百姓として郡奉行や十村の支配も受けた。岩峯寺村には、当初立山権現への寄進高100俵（50石）の他に275石の草高があり、

免5ツ4歩の年貢が課せられた。寛永17年（1640）年に開設された秋ヶ島用水は、岩峯寺領の灌漑用水の安定供給源とも目され高免を賦課される根拠にもなったようであるが、逆に冷水被害による収量低下をもたらした。各衆徒が直接耕作せず、殆どを小作に委ねる経営方法でもあり、年貢皆済は大きな負担であった。

土地や年貢の収納に関わることは、衆徒の中から『目代』と称する役僧を立てて任に当たった。岩峯寺には地蔵が設置されていたが、その管理も目代が行った。岩峯寺領の田地は栃津川の川縁にまで広がっていたが、度々の洪水被害に見舞われた。天明・天保年代の大凶作もあり、引免や貸銀・貸米等も効果が及ばず、百姓の兼業は衆徒を困窮に追い込んでいった。返上米や返上銀の皆済状、天保年代の『御高柴山書上帳』『極難人御粥願帳』等にその苦境が窺い知られる。年貢の皆済状は明暦元年（1655）のものもあり、近辺村落の同類文書としては古い年代のものに属する。

寺社奉行と郡奉行の双方にまたがる身支配の関係は、度々トラブルを生じた。

4. 明治年代以降の諸文書について

明治2年（1869）、維新の大改革が始まった。立山権現の称を廃して雄山神社と称し、岩峯寺の前立社壇は遥拝所に改められた。神仏を振り分け、衆徒は復飾改名して神職となり、立山西社人と称することになった。100俵の寄進高は取り消され、改めて御神供米50俵が給されることになった。各社人に対しては従前の納所高が取り上げられ、玄米13俵と居屋敷地が200歩宛渡された。この渡り米は、明治4年には半渡り、明治5年には廃止された。困窮に陥った神職一同の嘆願により、水田6石2斗高と畑200歩が平均配当されることになった。

明治3年（1870）3月からと10月の2度にわたり、射水郡泉村の神祇官神祭方御用係大森定久が復飾神職教諭方として来訪した。西神職（岩峯寺）24名と東神職（芦峯寺）役係7名に対し、古典や雄山神社祭典式・諸祝詞等について説教した。『神教要旨』を始め各種写本の遺存によって、神職として再出発した人達の学習ぶりが推察される。

明治6年（1873）に雄山神社は県社となり、翌7年大内弘磨（旧富山藩士族）が祠官として着任した。地元からは5名が祠掌に登用されるにとどまった。

雄山神社の直接経営から外された両嶽の人達は、その後室所材木払下願（明治7年）、室所建物払下願（明治8年）、雄山神社道路宮繕願（明治9年）、桑谷他五ヶ所御茶屋菰小屋場願（明治10年）等を出し、新しい時代に立山と関わりながら活路を見出そうとする姿を窺わせる。より組織的なものでは、明治13年（1880）発足の立山講社の活動がある。

県社としての沿革記録としては、例祭・奉幣使の登山・拝参人名簿・参拝社則・各大戦等の祝詞等がある。大正12年（1923）に行われた前立社壇本殿（当時特別保護建造物）の大改修関連諸記録も貴重なものである。

延命院の佐伯敬治は天保7年（1836）に生まれ、幼時に天保飢饉を体験し、28歳で住職を継ぎ、文久年代の出開帳にも参加した。藩政時代には『玄清』と称し、立山諸縁起の書写本等を残した。明治維新後は延津見・敬治と改名し、第6大区小5区の組合長や雄山神社祠掌を兼ね、自宅が社務所であった年代もあって、多面にわたり多くの貴重な資料を残した。

5. まとめにかえて

『岩峯寺文書』は『芦峯寺文書』と共に富山県文化財に指定されている。但し、それは雄山神社前立社壇蔵の481点を指していて、越中立山岩峯寺を知る資料としては不備と言わざるを得なかった。今回この集成目録に採録できた資料は、従来の2倍を越える点数になった。内容では目代関係の文書や明治以降の資料が特に増加した。また従前の資料で判明していた事項について関連的に補う文書もある。

近年急激な社会情勢の変換期の中で、ともすれば貴重な歴史的諸資料が散逸消滅する事態が危惧されている。今回当資料館が行った事業は集成目録の作成という段階ではあるが、それなりの意義を強調したい。

末尾ながら、資料の整理について全面的な賛同と協力をして下さった雄山神社前立社壇宮司佐伯静夫氏はじめ職員各位・延命院佐伯静夫氏・多賀坊佐伯敬吉氏・中道坊佐伯淳氏・般若院佐伯幸雄氏に深く敬意と謝意を表する次第である。今後これらの資料がいつまでも保存継承され、また越中立山の史実を語る資料として活用されていくよう念ずるものである。

(以上 文責 安田良栄)

凡 例

1. 本目録は、立山町岩峯寺の雄山神社前立社壇 並びに延命院・多賀坊・中道坊・般若院の各文書目録を合わせて作成した。
2. 各文書目録は、平成8年から9年にかけて立山町郷土資料館が調査し作成したものである。
3. 本集成目録では、内容を次の表の通り5種の項目に分類し、原則としてそれぞれ年代順に配列したが、文書番号は繁雑を避けるため各文書目録のものをそのまま用いた。
4. 文書番号欄には、前立社壇は前、延命院は延、多賀坊は多、中道坊は中、般若院は般と記して各文書の所属を表した。なお、前立社壇の絵図は前絵と記した。
5. 前立社壇文書や絵図については、昭和37年に木倉豊信氏が整理された『岩峯寺文書』を参照し、番号もそれを踏襲した。
6. 各項目の文書の数はい次の表の通りである。

	前立社壇	延命院	多賀坊	中道坊	般若院	計
近世、寺社・衆徒関係	433	78	56	51	5	623
近世、村・草高・年貢関係	56	51	73	4	0	184
近代、社寺・神職関係	18	172	7	25	2	224
近代、戸長役場・村・家関係	5	77	6	1	0	89
絵 図 ・ 版 物	37	5	5	5	12	64
計	549	383	147	86	19	1184

7. 前立社壇文書には、中世の年代のものもあるが、数が少ないので近世の冒頭に収録した。
8. 各文書については、標題・年月日・差出・宛先・形態・寸法 (cm 縦×横)・頁数を載せた。
9. 標題は原題に則り、簡略した場合や無標題のものは、内容に則して仮題を付した場合もある。
10. 本目録の調査や整理は、立山町郷土資料館の安田良栄・有山珠恵が担当した。

1. 近世、寺社・衆徒関係

前 1	立山寺御神領針原公文給帳 明応元年 壬子(1492)10月吉日 良弘奉行記之	袋綴 28.2×19.5 8枚
前 2	令旨、宜任権大僧都 永禄3年(1560)正月11日 花山	一紙 27.5×37.5 (包紙あり) 1
前 3	佐々成政寄進状 天正11年(1583)8月20日 佐々内蔵助成政(花押)→立山寺衆徒二十三人	続紙 33.0×84.0 1
前 4	前田利家寄進状 天正16年(1588)11月晦日 筑前守利家(朱印)→立山寺衆徒神主 (成巽閣蔵)	一紙 31.5×47.7 1
前 6	年首の巻数等への謝状 文禄3年か(1594)3月3日 羽筑利家(朱印)→立山寺回章	切紙 14.9×46.7 1
前 8	前田利長寺領安堵状 慶長7年(1602)12月9日 利長(花押)→立山寺衆徒中神主中 (成巽閣蔵)	一紙 31.6×46.6 1
前 10	延命院年頭進物を謝し、前田利長自筆消息 正月14日	一紙 35.0×51.5 1
前 11	節分の札等の謝状 (慶長)2月19日 ひ(肥前守利長)→こん斗久右衛門(近藤)	一紙 33.8×51.3 1
前 12	社造宮金子寄進状 (慶長)6月22日 はひ(羽柴肥前守)→長兵(奥村)	一紙 36.0×54.0 1
前 13	延命院の進物の謝状 (慶長)10月1日 はひ(羽柴肥前守)→久右衛門(近藤)	一紙 34.5×52.0 1
前 14	湯黄為持祝着、弥依頼状 (慶長17)(1612)卯月19日 利長(花押)→立山寺延命院	折紙 36.0×54.0 1
前 15	高岳様病気本復代参祈祷依頼状 慶長17年(1612)閏10月8日 横山長知等→立山□□□	折紙 40.4×56.3 1
前 16	立山寺拝殿建立御印 (慶長17)(1612)後10月9日 肥利長(黒印)→奥村河内守(栄明)	折紙 36.5×52.8 1
前 17	姫君様御誕生、祈念指示状 (慶長18)(1613)3月10日 奥村河内守→延命院	折紙 36.5×54.3 1
前 18	立山寺建立の儀つぶさに上申指示状 (慶長18か)(1613)7月13日 山森伊折等→圓光坊等	折紙 36.7×54.5 1
前 19	年頭の巻数等への謝状 (慶長)正月10日 肥利長(黒印)→岩峠寺	一紙 36.2×54.3 1
前 20	立山寺神事の巻数等への謝状 (慶長)卯月10日 肥前守利長→岩倉惣寺中	折紙 36.2×53.8 1

⑩ 2 1	歳暮の巻数等への謝状 (慶長) 12月14日 利長(黒印)→岩倉寺	一紙	35.8×54.0 1
⑩ 2 2	ふたかたへ進物を謝し杉原紙をつかわす状 (慶長) 8月5日 いわくらへつとう←せんふく	一紙	30.3×47.5 1
⑩ 2 3	ふたかたへの御礼等の謝状 いわくらへつたう←せんふく	一紙	27.5×45.0 1
⑩ 2 4	年頭の巻数等を謝し菓子返進の状 (慶長) 正月11日 神図書→岩倉惣坊人々中	折紙	34.0×51.7 1
⑩ 2 5	巻数・供物等進上書 慶長19年(1614)12月25日 五兵衛・すすき両所←ゑんかう坊	一紙	28.7×39.8 1
⑩ 2 6	御祭の巻数等の謝状 卯月19日 いわくら延命院←千福	一紙	34.2×51.7 1
⑩ 2 7	伊勢下向の御萩等進上の謝状 5月25日 岩倉延命院←千福	一紙	36.3×54.3 1
⑩ 2 8	戸帳奉納のため見本取寄状 6月3日 いわくらゑんめいいん←せんふく	折紙	33.8×51.8 1
⑩ 2 9	血盆経納上につきかね三匁つかわす状 7月11日 ゑんめいいんでしひゃくれん←せんふく	一紙	32.2×45.8 1
⑩ 3 0	上さまへ御ゑい等納上につき初穂つかわす状 (慶長) 8月4日 すすき殿等←せんふく	一紙	34.3×40.8 1
⑩ 3 1	御祈祷巻数等上進の謝状 狛犬寄進の件申添 (元和) 8月16日 玉泉院・千福→圓光坊	一紙	34.2×51.7 1
⑩ 3 2	歳暮巻数等上進の謝状 12月26日 玉泉院・千福→いわくら坊中	一紙	32.0×50.0 1
⑩ 3 3	御札・巻数等上進の謝状 戸帳・袈裟新調の件等申添 7月26日 玉泉院宰相→いわくらさすの御はう	一紙	34.2×51.8 1
⑩ 3 4	岩峯寺座主并新発意進物の謝状 8月8日 玉泉院・さい将→鈴木・五兵衛	一紙	29.0×46.0 1
⑩ 3 5	上様御寄進書付の件 8月8日 玉泉院・さい将→いわくらさすの御はう	一紙	29.2×42.7 1
⑩ 3 6	伊勢年籠の御萩等進上の謝状 正月12日 玉泉院・小大夫千福→岩倉延命院	一紙	36.5×54.2 1
⑩ 3 7	巻数等進上の謝状 6月13日 玉泉院・小大夫千福→岩倉座主坊	一紙	36.3×54.0 1
⑩ 3 8	御祈祷巻数等進上の謝状 8月19日 玉泉院・小大夫→立山別当	一紙	31.5×47.0 1

③ 39	前田利光(利常)寺領安堵状 元和元年(1615)10月2日 宰相源朝臣利光→立山寺衆徒中神主中 (成巽閣蔵)	一紙 38.4×51.1 1
④ 40	御前様(天徳院)産前祈祷指示状 (元和元)(1615)11月3日 横山山城守長知等3名→立山別当御坊	折紙 40.0×56.8 1
④ 41	殿様御見廻札等差上の謝状 (元和元か)(1615)11月29日 奥河内守栄明→延命院	折紙 36.2×54.3 1
④ 42	去年御前様祈祷初穂米足倉への配分につき申入状 (元和2か)(1616)正月16日 斎藤兵部→明星坊・延命院	1
④ 43	祈念の札等進上の謝状 (元和2)(1616)9月18日 肥前守利光(花押)→立山寺	折紙 40.2×56.0 1
④ 44	上様へ歳暮祈祷の札等進上の謝状 (元和)12月22日 興内記忠→立山延命院	折紙 34.2×52.0 1
④ 45	歳暮祝儀巻数御前様へ進上の謝状 (元和)12月24日 興内記助忠→立山寺	折紙 36.5×54.0 1
④ 46	御前様の祈祷指示状 12月5日 横山城守・本安房守→立山寺別当御坊	折紙 36.5×53.3 1
④ 47	御前様産前の祈祷并最花米請取指示状 (元和6か)(1620)5月晦日 奥村因幡守等3名→立山寺坊中	折紙 35.8×54.0 1
④ 48	御前様産前の祈祷指示状 (元和6か)(1620)12月26日 横山山城守・本多安房守→立山寺御同宿中	折紙 37.6×54.0 1
④ 49	歳暮御札等進上の謝状 (元和6)(1620)閏12月26日 玉泉院・小大夫→越中立山寺	一紙 34.6×50.3 1
④ 50	年頭御札等進上の謝状 正月15日 玉泉院・さいたつ→岩くら座主	一紙 33.2×47.5 1
④ 51	年頭巻数等進上の謝状 正月15日 玉泉院・さいたつ→岩くら惣中	一紙 33.0×47.5 1
④ 52	年頭御礼の巻数等進上の謝状 正月24日 玉泉院・(さいたつ)	一紙 31.8×46.2 1
④ 53	御見廻御札等進上の謝状 8月3日 玉泉院・さいたつ→いわくら座主坊	一紙 33.7×49.8 1
④ 54	歳暮祝の祈祷巻数等進上の謝状 12月21日 玉泉院	一紙 31.8×41.3 1
④ 55	御前様産後本復祈祷指示状 (元和8)戌(1622)6月8日 奥村因幡守等3名→立山寺坊中	折紙 36.3×54.2 1
④ 58	江戸御台様不例に付祈祷指示状 (寛永3か)(1626)卯月14日 横山々城守・本多安房守→岩倉寺別当御坊	折紙 40.0×57.0 1

⑤ 5 9	江戸御台様不例祈祷の初尾米遣状 (寛永3か)(1626)5月12日 横山々城守・本多安房守→立山寺御同宿中	折紙 36.5×54.0 1
⑥ 6 0	江戸への使者に祈祷札渡指示状 9月朔日 横山々城守・本多安房守→立山衆徒中	折紙 36.5×53.5 1
⑥ 6 1	相国様祈祷施物請取指示状 (寛永6か)(1629)12月14日 横山々城守・本多安房守→越中立山岩倉寺衆徒中	折紙 36.0×53.5 1
⑥ 6 2	筑前様祈祷札境へ持参指示状 (寛永)正月15日 横山々城守→岩倉寺御同宿中	折紙 36.0×53.5 1
⑥ 6 3	飛騨守様痘瘡に付祈祷指示状 (寛永15)(1638)2月3日 奥因幡守・本安房守→越中立山岩倉寺	折紙 36.0×53.5 1
⑥ 6 4	改年御慶の訪問謝状 正月15日 奥河内守米政→越中立山寺別当御坊	一紙 30.5×46.5 1
⑥ 1 1 0 1	姫君懐胎御祈祷米三拾俵納達状 元和6年か(1620)2月11日 御札毎月奥津内記守へ 奥村河内守、奥村摂津守発、立山……	折紙 40.4×57.0 1
⑥ 1 1 0 2	相国様不例祈祷指示状 寛永5年か(1628)8月27日 横山山城守・本多安房守発、越中立山衆徒中	折紙 34×54.3 1
⑥ 1 1 0 3	公方様御祈祷指示状 寛永8年か(1631)5月8日 横山山城守・本多安房守発、立山岩倉寺同宿中	折紙 34.2×51.7 1
⑥ 1 1 0 4	公方様去夏不例の祈祷、中納言様仰付、米遣さる 寛永8、9年か(1631)12月28日 横山山城守・本多安房守発、立山岩倉寺衆徒中	折紙 36.0×53.5 1
⑥ 1 1 0 5	将軍様御不例祈祷指示状 寛永(1635)5月6日 横山山城守・本多安房守発、立山岩倉寺御同宿中宛	折紙 36.5×53.5 1
⑥ 1 1 0 6	大姫痘瘡平愈祈祷指示状 寛永15年か(1638)2月14日 横山山城守・本多安房守発、立山岩倉寺御同宿中	折紙 36.2×52.8 1
⑧ 1 1 0 1	末社因縁書上ル帳(控) 元和7年(1621)11月 立山寺惣中→進上御奉行様	袋綴 24×17.5 4枚
⑧ 1 1 0 2	公方様不例祈祷に付中納言様より米被遣状(写) (寛永10か)(1633)12月28日 横山城守・本安房守→立山岩倉寺	折紙 39×52 1
⑥ 6 5	中納言様不例に付祈祷指示状 (正保)7月15日 横山城守・本安房守→立山岩倉寺	1
⑥ 6 6	中納言様不例祈祷料等請取指示状 12月18日 横山城守・本安房守→立山岩倉寺・足倉寺	1
⑥ 6 7	大姫君御産平安祈祷札等江戸指上連絡状 (寛永20)(1643)8月15日 奥野主馬・前田内蔵允→立山岩倉寺	折紙 36.0×53.5 1
⑥ 6 8	大姫君平産祈祷札等江戸指上連絡状 (寛永20)(1643)9月15日 奥野主馬・前田内蔵允→立山岩倉寺	折紙 36.0×53.5 1

前 69	大姫君御産平安祈祷札江戸指上連絡状 (寛永20)(1643)10月17日 奥野主馬・前田内蔵允→立山岩峯寺	折紙 36.0×54.0 1
前 70	大姫君平産祈祷札等江戸指上連絡状 (寛永20)(1643)霜月3日 奥野主馬・前田内蔵允→岩峯寺	折紙 36.0×54.0 1
前 71	大姫君平産若子誕生に付銀子被遺請取指示状 (寛永20)(1643)極月20日 前田内蔵允・奥野主馬→立山岩峯寺同宿中	折紙 35.5×54.0 1
前 72	大姫出産祝儀銀子請取書 寛永20年(1643)12月23日 越中岩峯寺別当→河合伝次等3名	切紙 27.2×14.0 1
前 73	大姫君安産若子誕生銀子拝領請書 (寛永20)(1643)12月26日 越中岩峯寺別当→前田内蔵允・奥野主馬	切紙 24.5×23.5 1
前 74	中納言様へ御札等進上の謝状 5月28日 横山大膳亮康玄→立山寺御同宿中	折紙 35.0×53.7 1
前 75	犬千代様痲瘡本復祈祷指示状 (正保2)(1645)3月4日 前田出雲守等6名→岩倉坊中	折紙 35.5×53.2 1
前 76	犬千代様痲瘡本復淡路様より祈祷依頼状 (正保2)(1645)3月6日 堀田掃部・佐々伊左衛門→岩倉寺	折紙 36.0×53.8 1
前 77	犬千代様痲瘡本復祈祷催促状 (正保2)(1645)3月9日 田辺佐五右衛門・高田勘右衛門→岩倉寺坊中	折紙 28.5×43.7 1
前 78	中納言様より社壇入用奉加銀相渡状 (正保2)(1645)5月16日 山崎半左衛門長政→岩倉寺社僧中	折紙 29.5×46.0 1
前 79	社壇普請奉加銀請取指示状 (正保2)(1645)閏5月22日 山崎半左衛門長政→岩倉寺社僧中	折紙 29.0×46.0 1
前 80	犬千代様祈祷立山岩峯寺で月々執行指示状 (正保2)酉(1645)8月18日 前田内蔵允→改田小兵衛・近藤市左衛門	折紙 28.7×43.8 1
前 81	犬千代様祈祷月々執行指示伝達状 (正保2)(1645)8月19日 改田小兵衛・近藤市左衛門→岩峯寺坊中	折紙 28.7×43.7 1
前 82	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 (正保2か)(1645)8月26日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.3×50.8 1
前 83	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 9月14日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.3×51.0 1
前 84	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 10月10日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.2×51.0 1
前 85	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 11月16日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.5×51.2 1
前 86	犬千代様痲瘡之刻祈祷執行料御請指示状 (正保2)(1645)12月7日 岡嶋市郎兵衛・葛巻蔵人→越中立山岩倉坊中	折紙 33.0×51.3 1

前 87	犬千代様疱瘡之刻淡路守依頼の祈祷料被遣状 (正保2)(1645)12月24日 堀田掃部・佐々伊左衛門→岩倉社僧衆中	折紙 31.3×46.8	1
前 88	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 (正保3か)(1646)正月11日 前田内蔵允知辰→岩峯寺	折紙 33.5×51.0	1
前 89	曆甫の祝詞御札等納受状 (正保3)(1646)正月21日 前田出雲貞里→立山岩峯寺同宿中	折紙 32.8×50.3	1
前 90	犬千代様当月分析祈祷御札等納受並来月より富山会所へ指上指示状 2月9日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 32.7×51.5	1
前 91	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 (正保3か)(1646)3月11日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.7×51.4	1
前 92	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 5月11日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 34.2×51.8	1
前 93	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 7月10日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.7×51.7	1
前 94	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 8月10日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 34.0×51.7	1
前 95	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 9月10日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 34.0×51.3	1
前 96	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 10月11日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.3×51.8	1
前 97	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 11月11日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.0×51.0	1
前 98	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 12月12日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.3×51.5	1
前 99	歳暮之祈祷御札等進上の謝状 極月19日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 32.8×51.3	1
延 11 07	犬千代様御祈祷札等江戸へ上るにつき御報 正保3年か(1646)5月11日 前田内蔵允発、立山岩峯寺宛 ※岩峯寺文書92	折紙 34.2×51.8	1
延 11 08	公方様不例祈祷指示状 戌、正保3年(1646)9月3日 奥村河内守、葛巻隼人、津田玄藩、前田出雲守、立山岩峯寺宛	折紙并切紙 18×53	2
前 100	犬千代様当月分析祈祷御札等上り状 (正保4か)(1647)正月11日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 33.8×51.5	1
前 101	犬千代祈祷毎年米八石遣之状 正保4年(1647)正月19日 利常→岩峯寺		1
前 102	御見廻御札等進上の謝状 7月20日 前田内蔵允知辰→岩峯寺同宿中	折紙 33.2×50.7	1

前 103	御歳暮祝儀御札等進上の謝状 12月19日 前田内蔵允知辰→立山岩倉寺	折紙 33.0×50.7 1
前 104	御札被懸の謝状 極月19日 前田内蔵允知辰→立山岩峯寺	折紙 34.0×52.0 1
前 105	淡路守御前様不例に付祈祷依頼状 (慶安元)(1648)5月13日 堀田掃部・佐々伊左衛門→岩峯寺	折紙 35.7×54.3 1
前 106	公方様不例淡路様祈祷仰付状 (慶安3か)(1650)8月16日 村勘左衛門・近藤善右衛門→立山岩峯寺別当御坊	折紙 34.5×51.2 1
前 107	岩峯寺若宮社礼堂・鐘突堂修理用材伐出申渡状 慶安4年(1651)5月17日 田辺佐五右衛門等3名→岩峯寺衆徒中	折紙 33.5×50.0 1
前 108	中納言様厄祈祷犬千代様六ヶ所へ仰付状 (慶安5)(1652)2月4日 津田玄蕃頭・奥村河内守→岡嶋市郎兵衛・葛巻蔵人	切紙 16.5×44.0 1
前 109	中納言様厄祈祷犬千代様仰付伝達状 2月5日 岡嶋市郎兵衛・葛巻蔵人→越中立山別当	折紙 32.8×50.7 1
前 110	歳暮祈祷巻数等進上状 承応元年(1652)12月15日 越中立山岩峯寺→富田善左衛門	切紙 27.7×17.0 1
前 111	中納言様祈祷犬千代様六ヶ所へ仰付状 (承応元か)(1652)12月15日 長九郎左衛門等3名→岡嶋一郎兵衛・葛巻蔵人	切紙 16.5×51.5 1
前 112	中納言様祈祷犬千代様仰付伝達状 12月18日 岡嶋市郎兵衛・葛巻蔵人→立山別当	折紙 33.0×51.5 1
前 113	年甫の御札等進上の謝状 正月20日 本安房政長→岩峯寺同宿中	折紙 35.7×53.5 1
前 114	中納言様祈祷加賀守様所々へ仰付状 (承応3か)(1854)2月19日 長九郎左衛門等6名→岡嶋市郎兵衛・葛巻蔵人	続紙 16.5×50.5 1
前 115	中納言様祈祷加賀守様仰付伝達状 2月20日 葛巻内大垣・岡嶋内阿閉→立山別当岩峯寺	折紙 33.0×51.3 1
前 116	歳暮嘉祝の御札等進上の謝状 12月19日 中納言利常(花押)→立山寺別当	折紙 39.7×56.7 1
前 117	祈祷御札等進上の謝状 6月15日 (利常黒印)→越中立山岩峯寺	一紙 35.5×53.0 1
前 118	祈祷御札等進上の謝状 6月23日 (利常黒印)→越中立山岩倉寺	一紙 35.0×53.0 1
前 119	立山岩倉寺祈祷御札到来聞届状 8月5日 利常(黒印)→富田善左衛門	一紙 32.2×46.3 1
前 120	歳暮祝儀祈祷札等進上の謝状 12月14日 中納言利常(黒印)→立山岩峯寺	一紙 31.8×46.8 1

前 121	祈祷御札等進上の謝状 (承応元か)(1652)12月19日 中納言利常(黒印)→岩倉寺	一紙 35.3×53.0 1
前 122	上様痲瘡ニ付加賀守様諸社へ祈祷仰付状 (明暦2か)(1656)4月2日 葛巻蔵人・茨木右衛門→立山別当	切紙 18.0×48.8 1
前 123	上様痲瘡祈祷催促状 4月3日 山崎半左衛→立山別当	続紙 16.2×56.3 1
前 124	加賀守様毎月祈祷向後無用申渡状 (明暦4)(1658)12月5日 森権大夫等4名→岩倉寺芦峯寺社僧神主中	折紙 33.5×50.5 1
前 125	当公方様誕生後祈祷仰付の委細調に付出頭指示状 (寛文3・4頃)(1663・4)8月21日 富田治部左衛門・不破彦三→立山寺岩峯寺	折紙 34.2×52.0 1
前 126	歴代藩主并室等没後年数の控 寛文5年(1665)7月吉日	続紙 31.0×78.5 1
前 127	成人記念太刀等奉納書 (寛文6)午(1666)5月6日 磯村甚助→岩峯寺同宿中	折紙 29.5×46.0 1
前 128	覚、立山社頭再興入用献納目録 寛文7年(1667)7月16日 永原左京・笹原織部→立山別当中	一紙 36.0×52.5 1
前 129	覚、藩寺社奉行定書三ヶ条 寛文8年(1668)正月17日 永原左京・笹原織部→越中立山岩峯寺別当中	一紙 36.0×52.7 1
前 130	前立社壇戸帳寄進状 申(寛文8)(1665)8月29日 永原左京・笹原織部→岩峯寺圓光坊	切紙 17.8×52.6 1
前 131	加賀守様江戸で不快ニ付祈祷申渡状 (天和2)(1682)5月7日 和田小右衛門3名→立山芦峯寺・岩峯寺	1
前 132	加賀守様祈祷仰付の件連絡状 戌(天和2)(1682)5月9日 芦峯寺→岩峯寺衆徒中	1
前 133	御姫様仰出の祈祷札等の上り状 5月12日 窪田九郎兵衛→岩峯寺使僧・明星坊	切紙 16.8×34.0 1
前 134	室堂永代燈明料(控) 大乘寺卍山	一紙 23.0×34.3 1
前 135	加賀守様来年厄歳ニ付御姫様祈祷仰付状 (天和3か)(1683)9月16日 窪田九郎兵衛等3名→岩峯寺・芦峯寺	折紙 30.8×46.0 1
前 136	中将様来年厄歳祈祷御札等の上り状 (天和3か)(1683)9月26日 窪田九郎兵衛等3名→立山別当岩峯寺	折紙 30.8×46.0 1
前 137	奉納越之中州立山絶頂宝蔵一軸 貞享3年(1686) 金沢浄安寺心誉等	一卷 29.2×697 1
前 138	奉納一軸写 貞享3年(1686) 加州浄安寺心誉等	一冊 26.3×18.5

⑩ 139	立山道刈料請取状(控) 貞享3 寅(1686)6月19日 立山別当岩峯寺→濃州蕨生村後藤平右衛門	切紙 22.5×23.0 1
⑩ 141	老僧格兩人の出頭指示状 (元禄末頃)12月10日 竹田五郎左衛門・伊藤平右衛門→岩峯寺衆徒中	切紙 16.6×27.3 1
⑩ 484	覚、立山本堂御用木、明星坊地内ヨリ伐出指示状 戊子(宝永5)(1708)7月27日 伊藤平右衛門・永原左京→岩峯寺衆徒中	切紙 16.6×36.7 1
⑩ 142	室堂山籠より金沢大乘寺へ帰参の通報状 宝永6年(1709)8月4日 江州洞寿院栢応→立山別当六角坊等三僧	一紙 24.3×30.2 1
⑩ 143	覚、立山社頭再興遷宮入用の奉納目録 正徳元年(1711)6月21日 永原左京・伊藤平右衛門→立山別当中	一紙 34.4×41.2 1
⑩ 144	覚、立山本社遷宮入用幕奉納状 辛卯(正徳元)(1711)6月21日 永原左京・伊藤平右衛門→立山別当中	続紙 17.0×51.5 1
⑩ 11 09	立山大権現末社修覆、出開帳認可状 壬辰、正徳2年(1712)6月11日 伊藤平右衛門・永原左京発、立山岩峯寺衆徒中	折紙 33.5×50.5 1
⑩ 11 10	末社修覆出開帳認可状 己亥、享保4年(1719)5月11日 伊藤内膳・菊地大学・永原左京発、立山岩峯寺衆徒中宛	続紙 16.5×96.5 1
⑩ 145	覚、金子奉納状 卯(享保8か)(1723)8月17日 和田采女内鍊勘左衛門→岩峯寺惣衆徒・先達両僧	折紙 34.0×50.5 1
⑩ 146	覚、立山社頭再興遷宮入用の奉納目録 享保11年(1726)7月4日 生駒右近等3名→立山別当中	一紙 36.4×52.8 1
⑩ 147	覚、立山社頭再興遷宮入用の奉納目録 享保17年(1732)7月5日 本多主水等3名→立山別当中	続紙 24.5×53.2 1
⑩ 148	覚、立山社頭再興遷宮入用品奉納目録 元文元年(1736)6月19日 山崎庄兵衛等3名→立山別当中	続紙 24.5×54.3 (包紙あり) 1
⑩ 149	高札文字消検分のため持参指示状 (寛保年代)4月6日 菊地十六郎→立山岩峯寺衆徒中	続紙 17.0×78.7 1
⑩ 150	杉材伐出場所の件衆徒書付返却指示状 5月15日 郡奉行→寺社奉行→立山岩峯寺衆徒中	続紙 17.0×71.0 1
⑩ 151	相公様御気色滞ニ付祈祷申渡状 (延享2)(1745)6月5日 青山将監→立山岩峯寺	切紙 16.8×51.3 1
⑩ 472	相公様御気色滞につき祈祷の件連絡状 (延享2)(1745)6月5日 山崎兵左衛門→立山岩峯寺	続紙 16.3×60.7 1
⑩ 152	相公様御気色滞ニ付祈祷の進上物問い合わせ(末部欠損か)	続紙(断簡) 17.0×35.0 1
⑩ 153	相公様御気色滞祈祷の返書揭示状 6月7日 青山将監→立山岩峯寺	続紙 16.8×75.5 1

⑩ 154	相公様祈祷の件重ねて指示状 6月7日 山崎兵左衛門→立山岩峯寺	続紙 16.8×96.0 1
⑩ 155	相对勸化許可申談の出頭指示状 (寛延元)(1748)8月7日 池田七兵衛→立山岩峯寺衆徒中	切紙 16.8×33.0 1
⑩ 156	立山権現末社修覆相对勸化申渡状 戊辰(寛延元)(1748)8月 生駒右近→岩峯寺	切紙 16.8×39.8 1
㊦ 11 03	桑ヶ谷小屋御尋ニ就、申上状 延享5年(1748)6月 立山別当岩峯寺衆徒中→天正寺村彦三郎殿	一紙 24.3×34.5 1
㊦ 11 11	由来書上帳(嘉永7年写) 寛延2年(1749)3月 立山別当岩峯寺、控を含む	袋綴2冊 24.8×19.5 11・9枚
⑩ 157	室堂再興棟札(下書) 宝暦2年(1752)6月 菅原中将重熙	続紙 29.5×24.3 1
㊦ 11 01	権大僧都法印栄信入寂送伽陀文(下書) 宝暦9年(1759)	一紙 119.5×42 1
㊦ 11 12	巡見上使御越ニ付諸修覆等奉願 宝暦11年(1761) 延享3、享保2の上申を含む	袋綴 25.5×19 8枚
㊦ 11 14	遷宮入用帳、立山別当岩峯寺 明和4年(1767)11月12日	袋綴 24×18 15枚
㊦ 11 02	某光時岩峯寺参詣祭文並びに歌 明和4年(1767)	続紙、前半次 34.5×50.7 1
⑩ 158	萬人講十三会申渡書 子(明和5)(1768)9月	一卷 16.3×246.5 (包紙あり) 1
⑩ 159	萬人講十三会申渡書(部分写)	一卷 17.2×304.0 1
㊦ 11 15	段ヶ原御林廻衆徒名申聞帳 丑、明和6年(1769)3月6日 公事場奉行→寺社奉行→岩峯寺衆徒	切紙 17.2×52 1
㊦ 11 16	京都問答筆記、密蔵坊長清 明和6、丑年(1769)7月20日 立山寺衆徒宛、安福勝太左衛門書状付(大行殿御内)、般若院	袋綴并切紙 24×17 11+1枚
⑩ 160	覚、立山大権現へ幕・堤灯等寄附状 明和7年(1770)7月 山井勘解由次官→立山別当立山寺	折紙 36.2×54.0 1
⑩ 161	祭礼時護摩木・正月飴松等不断相調の儀奉願書 明和7年(1770)8月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×55.7 1
⑩ 162	口述、中御門院末広奉納状 明和7年(1770)9月 町尻三位如水→立山別当立山寺	折紙 43.3×57.5 1

㊦ 163	町尻三位寄附目録 明和7年(1770)9月 町尻三位内安福隼人→越中立山別当中	折紙 43.0×52.3 1
㊦ 164	町尻家御寄附状之事 明和7年(1770)9月 町尻家安福隼人→立山別当立山寺衆僧中	一紙 43.5×57.3 1
㊦ 165	覚、寄附目録 安福隼人筆蹟	折紙 35.2×51.3 1
㊦ 166	正親町三条両卿連歌	折紙 39.3×53.5 1
㊦ 167	前大納言為家歌	懐紙 33.8×47.5 1
㊦ 168	右近大将兼季歌	懐紙 34.0×47.0 1
㊦ 169	前関白太政大臣歌	懐紙 34.0×46.3 1
㊦ 170	和歌一首、としさむき	懐紙 37.0×50.0 1
㊦ 171	和歌一首、君か代は	懐紙 37.0×50.5 1
㊦ 424	官奉願書 明和7年(1770)10月 立山寺所化秀映→勤修寺宮様御内	一紙 33.2×39.6 1
㊦ 172	岩峯寺の旅の文并歌一首 辛卯 明和8年(1771) 安福栄	一紙 34.5×50.5 1
㊦ 173	立山山麓よりの文并歌二首 辛卯 明和8年(1771) 安福栄	一紙 34.6×51.0 1
㊦ 174	覚、永代燈明料等奉納目録 明和9年(1772)7月25日 加州大乘寺役僧→御坊中	切紙 19.0×25.5 1
㊦ 175	講堂再興自普請認可状 癸巳(安永2)(1773)12月26日 福岡瀬太夫・斉藤判太夫→立山岩峯寺衆徒中	続紙 17.0×63.3 1
㊦ 176	講堂自普請願書聞届状 5月21日 国枝平太夫・福岡瀬太夫→立山岩峯寺衆徒中	切紙 14.3×47.8 1
㊦ 11 04	願書付留帳(峯本社再建の再願) 明和9年(1772)正月・6月 衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24.5×17.3 3枚
㊦ 11 17	立山大権現末社修覆出開帳認可状 癸巳、安永2年(1773)閏3月 寺西弾正・伊藤内膳・永原求馬発、立山岩峯寺衆徒中	続紙 17.7×110 1
㊦ 11 03	立山大権現前立講堂屋根修理願(仮題) 戌(安永7. 1778か寛政2. 1790) 御扶持人承知裏書 岩峯寺衆徒中→十村12名連記	続紙 26×63 1

前 178	覚、立山本社再興遷宮入用代銀献納状 天明3年(1783)6月 中川八郎右衛門→立山岩峯寺衆徒中	切紙 17.0×61.0 1
前 181	立山本社造営申渡状 天明3年(1783)4月26・27日 寺嶋五郎兵衛→三田村内匠 国枝平大夫等→立山岩峯寺	続紙 14.7×64.2 1
前 425	岩峯社堂正遷宮入用銀相渡 卯(天明3)(1783)12月 土谷忠蔵・生熊兵四郎→立山岩峯寺衆徒中	続紙 14.8×57.9 1
前 179	五穀成就祈祷申渡状 (天明6)(1786)6月 白山等五ヶ寺宛	切紙 16.8×51.0 1
前 180	五穀成就祈祷申渡の為出頭指示状 (天明6か)(1786)6月10日 三田村内匠→立山岩峯寺衆徒中	切紙 14.3×32.0 1
前 183	立山大権現禁遷宮札(下書)甲乙 天明8年(1788)正月吉日	続紙2点 88.5×22.0 2
廻 11 18	寺具仏具書上帳、立山別当岩峯寺 天明5年(1785)11月	袋綴 24.2×18 4枚
廻 11 19	寺社号書上帳、立山別当岩峯寺 天明7年(1787)5月	袋綴 24×17.5 4枚
廻 11 05	桑谷小屋朽損ニ付材木伐渡拜領願状 酉(寛政元)(1789)5月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24×52 1
廻 11 06	覚、桑谷小屋建直シ木材伐出シ願状 酉(寛政元)(1789)5月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 23.8×34.8 1
廻 11 07	桑谷小屋再建の松杉伐渡し願(控) (寛政元)(1789)	一紙 22.6×35.2 1
廻 11 08	桑谷小屋大破ニ付杉松伐渡願状 酉(寛政元)(1789)6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24.5×35.5 1
廻 11 09	桑谷小屋再建の杉松伐渡場所に付口上書 酉(寛政元)(1789)6月 岩峯寺目代→天正寺村彦右衛門殿	一紙 24.3×35.5 1
廻 11 10	桑谷小屋修覆材に関し願状(下書) 酉(寛政元)(1789)壬6月 衆徒中→寺社御奉行所	一紙 22.7×34.7 1
廻 11 11	伐木に関する詮議仰渡の控 (寛政元か)(1789) 桑谷小屋修覆材関連か	切紙(下部破損) 21×15 1
廻 11 12	桑谷小屋修覆材に関し願状(控) 酉(寛政元)(1789)壬6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24.2×29.2 1
前 182	五穀成就祈祷申渡 (寛政元か)(1789)2月5日 不破彦三→立山岩峯寺	続紙 15.5×57.8 1
前 184	立山権現諸末社修覆費、相对勸化承届状 庚戌(寛政2)(1790)5月	切紙 16.2×57.0 1

⑩ 185	立山権現諸末社修覆費、相对勧化の請書差出指示状 5月17日 齊藤判大夫・遠田金右衛門→立山岩峯寺衆徒	続紙 16.2×62.0 (包紙あり) 2
⑩ 186	覚、当暮取集寄進額目録 寛政3年(1791)3月 御扶持人・十村→岩峯寺衆徒	続紙 17.0×88.5 1
⑨ 13 1	立山寺院主世代記帳 正徳5、末年(1715)5月 良尊書之、文政5年加筆	袋綴 23.9×17.4 10枚
⑨ 13 2	當山院主世代記写卷全 寛政3年(1791)12月 白善書之	袋綴 24.2×18 10+1枚
⑩ 261	五穀成就祈祷申渡状 (寛政4頃か)(1792)2月6日 菊地大学→立山岩峯寺	切紙 14.8×51.5 1
⑩ 188	五穀成就祈祷申渡状 丑(寛政5)(1793)正月 前田修理→立山岩峯寺	続紙 15.3×48.8 1
⑩ 189	祈祷申渡状 寅(寛政6か)(1794)7月23日 前田内蔵助→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.5×38.7 1
㊦ 11 13	桑谷小屋之儀ニ付雑木拝領願 寛政7卯年(1795)5月 岩峯寺目代→茂左衛門等3名→篠原権五郎	続紙 24×100.7 1
⑩ 191	五穀成就祈祷申渡状 (寛政9頃か)(1797)正月24日 品川主殿→立山岩峯寺	切紙 15.7×50.8 1
⑩ 192	五穀成就祈祷申渡状 (寛政10頃か)(1798)正月 品川主殿→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 14.7×45.3 1
⑨ 11 20	覚、段ヶ原より杉伐出の儀三ヶ条間糺状並覚書 巳、寛政9年か(1797)5、6月 算用場→品川主殿(寺社奉行)	切紙2通 15.7×137 14.3×62 2
⑨ 11 21	衆徒中年行事 寛政10年(1798)正月 圓林坊	袋綴 24.6×18 9枚
⑩ 193	五穀成就祈祷申渡状 申(寛政12)(1800)正月13日 前田修理→立山岩峯寺	切紙 15.7×34.3 1
⑩ 194	五穀成就祈祷申渡状 (享和元か)(1801)正月16日 前田修理→立山岩峯寺	続紙 15.6×65.0 1
⑩ 195	五穀成就祈祷申渡状 (享和2か)(1802)2月11日 前田修理→立山岩峯寺	切紙 16.3×45.3 1
⑨ 11 22	立山大権現末社修覆出開帳認可状 享和2年、壬戌(1802)4月 卯辰愛染院、品川主殿・中川清六郎・前田修理発、立山岩峯寺衆徒中	続紙 16.8×116.5 1
⑨ 11 23	由来書上帳、立山別当岩峯寺 文化3年(1806)4月	袋綴2冊 24.6×19.0 12・10枚
⑩ 196	五穀成就祈祷申渡状 子(文化元)(1804)2月2日 竹田掃部→立山岩峯寺	切紙 17.8×49.5 1

前 197	五穀成就祈禱申渡状 (文化3か)(1806)正月16日 竹田掃部→立山岩峯寺	切紙 15.3×45.7 1
前 198	祈禱料相渡に付出府指示状 2月朔日 河北祐作・土谷忠蔵→立山岩峯寺衆徒中	切紙 15.3×29.0 1
前 199	五穀成就祈禱申渡状 丑(文化2)(1805)正月16日 中川清六郎→立山岩峯寺	続紙 15.6×61.7 1
前 200	衆徒後住交代の届出指示状 丙寅(文化3)(1806)2月 立山岩峯寺衆徒中	切紙 16.8×44.5 1
前 201	五穀成就祈禱申渡状 卯(文化4)(1807)正月22日 前田式部→立山岩峯寺	切紙 15.3×39.2 1
前 202	覚、立山本社再興遷宮入用代銀献納状 文化4年(1807)5月 竹田掃部→立山岩峯寺衆徒中	続紙 17.2×58.0 1
前 203	五穀成就祈禱申渡状 辰(文化5)(1808)正月10日 中川清六郎→立山岩峯寺	続紙 15.3×47.2 1
前 204	五穀成就祈禱申渡状 午(文化7)(1810)3月朔日 中川清六郎→立山岩峯寺	続紙 19.6×49.2 1
多 11 14	神領内二ヶ所間数書改上申書(控) 文化9申年(1812)4月 岩峯寺目代→天正寺村七郎	切紙 23.5×21.5 1
前 205	五穀成就祈禱申渡状 (文化8)(1811)正月9日 中川静六郎→立山岩峯寺	切紙 15.5×45.8 1
前 206	祈禱申渡状 8月13日 多賀左近→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 16.8×46.3 1
前 235	五穀成就祈禱申渡状 子(文化13か)(1816)正月 立山岩峯寺江	切紙 15.7×32.7 1
前 207	気候立直り祈禱申渡状(写) (文化13か)(1816)8月 立山	続紙 16.7×36.5 1
前 208	立山別当岩峯寺申出により気候不順祈禱申渡状(写) 8月 寺社奉行江	切紙 15.8×38.0 1
前 209	祈禱申渡状 子(文化13か)(1816)8月朔日 前田将監→立山岩峯寺・芦峯寺	切紙 16.2×32.5 1
前 413	五穀成就祈禱申渡状 丑(文化14か)(1817)正月23日 横山左京→立山岩峯寺	切紙 17.3×48.0 1
前 210	病気平癒祈禱依頼状 7月3日 小川要人→立山別当番中	続紙 15.3×56.8 (包紙あり) 2
前 211	五穀成就祈禱申渡状 寅(文政元)(1818)2月 不破彦三→立山岩峯寺	続紙 15.6×49.3 1

㊥	宿々村々巡参帳 文化12年(1815) 越後方面 岩峯寺中道坊	横半帳 19.5×13.8 19枚綴
㊥	立山禅定人留帳(仮題) 文化15年(1818) 越後方面、15年間	袋綴 28.8×20 19枚
㊥	越中立山本社建替用材伐出に関する書状 丑、文化14年(1817) 作事奉行→郡奉行→十村→岩峯寺目代 修理才許→岩峯寺役僧	切紙3通 15.7×83.0 3
㊥	越中立山芦峯寺衆徒社人江申渡之覚(写) 文政元年(1818)8月24日 公事場奉行→寺社奉行	袋綴 24×18 8枚
㊥	修覆ヶ所注進書(控) 文政2~天保3年(1819~)	各一紙 25×18 18枚綴
㊤	公事場より立山寺称の御尋に付答書(控) 亥(文化12)(1815)4月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙(中間欠落)24×? 1
㊤	立山峯本社大破に付、注進并再建願留(仮題) 文化14年(1817) 文化11.5~14.2まで7通綴 別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴7枚、続紙2枚 24.5×17 9
㊤	立山仮殿出来、下遷宮の件連絡状 文政元年(1818)5月19日 遠田右之助→岩峯寺役僧中	切紙 16.2×23.3 1
㊤	五穀成就祈祷申渡状 卯(文政2)(1819)2月15日 青山将監→立山岩峯寺	続紙 16.7×62.0 1
㊤	五穀成就祈祷申渡状 辰(文政3)(1820)2月6日 青山将監→立山岩峯寺	切紙 17.5×46.0 1
㊤	止雨祈祷申渡状 辰(文政3)(1820)6月11日 富田外記→立山岩峯寺	切紙 15.2×46.3 1
㊤	御社領并坊数帳 文政3辰年(1820)12月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24×17.5 4枚
㊤	祈祷料被遺状 巳(文政4)(1821)2月2日 山崎庄兵衛→立山岩峯寺	切紙 15.3×41.0 1
㊤	貞琳院平癒祈祷申渡状(写) (文政4)(1821)10月 岩峯寺	切紙 15.0×29.5 1
㊤	祈祷申渡状 巳(文政4)(1821)10月21日 富田外記→立山岩峯寺	切紙 15.0×31.7 1
㊤	貞琳院様平癒祈祷急速指示状(写) (文政4)(1821)10月23日 山本数右衛門・江口清左衛門→立山岩峯寺	続紙 14.7×63.5 1
㊤	五穀成就祈祷申渡状 午(文政5)(1822)閏正月27日 青山将監→立山岩峯寺	続紙 15.5×41.8 1
㊤	早飛脚による祈祷指示状(写) 6月5日 青山将監→立山岩峯寺	切紙 16.6×48.5 1

② 1 1 2 7	立山権現等魚津并飛騨古川出開帳認可状 文政5年(1822)9月 山崎庄兵衛・富田外記・青山将監発、立山岩峯寺衆徒中	続紙 17.5×119.0	1
③ 219	五穀成就祈祷申渡状 未(文政6)(1823)2月4日 富田外記→立山岩峯寺	切紙 15.0×40.0	1
④ 1	大法師般若院実圓権律師補任状 文政4年(1821)2月17日 勸修寺宮	一紙 45.0×57.5	1
④ 2	権律師般若院実圓権少僧都補任状 文政6年(1823)6月5日 勸修寺宮	一紙 45.0×57.5 (包紙あり)	1
④ 3	権少僧都般若院実圓権大僧都補任状 文政8年(1825)11月22日 勸修寺宮	一紙 45.0×57.5 (包紙あり)	1
④ 4	権大僧都般若院実圓法印補任状 文政10年(1827)9月6日 勸修寺宮	一紙 45.0×57.0 (包紙あり)	1
③ 467	中将様麻疹平癒祈祷指示状 (文政6)(1823)3月29日 多賀豫一右衛門→立山岩峯寺	切紙 14.5×41.0	1
③ 221	五穀成就祈祷申渡状 申(文政7)(1824)2月9日 多賀豫一右衛門→立山岩峯寺	切紙 15.6×44.0	1
③ 224	難病除け祈祷申渡状 (文政7)(1824)閏8月 立山	切紙 16.0×37.7	1
③ 225	五穀成就祈祷申渡状 酉(文政8)(1825)正月16日 富田外記→立山岩峯寺	切紙 14.8×45.8	1
③ 226	五穀成就祈祷申渡状 戌(文政9)(1826)2月2日 富田外記→立山岩峯寺	続紙 15.0×57.0	1
③ 227	御修覆物書上帳(控) 文政9年(1826)3月18日 立山別当岩峯寺衆徒→寺社奉行所	袋綴 23.5×16.7 25枚 切紙 23.5×34.5 1	
③ 228	五穀成就祈祷申渡状 亥(文政10)(1827)2月朔日 多賀豫一右衛門→立山寺岩峯寺	切紙 15.0×34.8	1
③ 229	立山諸末社修覆の為、領国中出開帳の承届状 亥(文政10)(1827)3月26日 本多図書→前田内蔵太 算用場→前田内蔵太	切紙 15.7×37.8	1
③ 230	出開帳は格別の詮議なること申渡状 (文政10)(1827)7月晦日 近藤瀬左衛門・西川七郎左衛門→立山岩峯寺	続紙 16.2×59.8	1
③ 231	卯辰観音院の立山権現出開帳日数延長承届状 亥(文政10)(1827)9月	続紙 14.0×80.7	1
③ 232	別紙は御用番申聞のこと伝文 亥 9月16日 本多図書→立山岩峯寺	続紙 15.0×30.0	1
② 1 1 2 8	立山大権現末社修覆出開帳認可状 文政10年、丁亥(1827)8月 多賀豫一右衛門・玉井勘解由・前田式部発、立山岩峯寺宛	続紙 16.5×103.5	1

前 233	出開帳満日の上武運長久祈祷札指上状 9月 寺社奉行江	続紙 14.5×40.0 1
前 234	出開帳相済に付武運長久祈祷札指上状(写) 10月 寺社奉行江	続紙 15.0×34.5 1
前 236	五穀成就祈祷申渡状 子(文政11)(1828)2月4日 前田式部→立山岩峯寺・芦峯寺	切紙 15.0×42.2 1
前 237	寺社奉行の書状開封の断状の件承知返書 子 2月7日 芦峯寺役僧→岩峯寺役僧中	切紙 15.2×39.3 1
前 238	立山大権現遷宮札 キリーク(下書)(麓) 文政12年(1829)8月吉祥日	続紙 100.0×23.7 1
前 240	立山大権現遷宮札 カンマーン(下書)(麓) 文政12年(1829)8月吉日 別当岩峯寺	続紙 100.0×24.2 1
前 242	五穀成就祈祷申渡状 (天保元か)(1830)2月11日 篠原監物→立山岩峯寺	続紙 17.3×68.5 1
前 243	五穀成就祈祷申渡状 (天保2か)(1831)正月25日 篠原監物→立山岩峯寺	続紙 16.8×59.7 1
前 464	姫君安産祈祷指示状 天保か 正月26日 品川左門(武住)→立山岩峯寺	切紙 16.2×63.0 1
延 11 29	桑谷等止宿不相成条申渡、一件 卯、天保2年(1831)7月 郡奉行より	袋綴 24.5×18.5 10枚
多 11 18	桑ヶ谷止宿之義ニ付奉願状 天保2卯年(1831)7月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24×17 4枚
多 11 19	桑谷等之小屋止宿不相の申渡に付再願状 卯(天保2)(1831)10月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所 ※下書片2点を含む	一紙 24.5×41.2 1
多 11 20	立山神号帳、別当岩峯寺 天保2年(1831)10月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24×18 3枚
延 11 30	筆記帳 天保2年、卯(1831) 桑谷止宿指留、芦峯寺より絵図等指出指留、鏡石北温涌出	袋綴 24.2×17.8 8枚
前 465	溶姫安産祈祷指示状 辰(天保3)(1832)3月朔日 篠原監物→立山岩峯寺	続紙 15.4×41.7 1
前 241	五穀成就祈祷申渡状 巳(天保4)(1833)2月2日 篠原監物→立山岩峯寺	切紙 15.8×36.5 1
前 466	姫君安産祈祷指示状 巳(天保4)(1833)11月12日 前田式部→立山岩峯寺	切紙 15.2×42.8 1
前 244	五穀成就祈祷申渡状 午(天保5)(1834)2月4日 前田式部→立山岩峯寺	続紙 15.3×37.5 1

前 246	来年相公様厄年に付祈祷申渡状 午(天保5)(1834)12月 立山	切紙 16.0×23.0 1
前 500	当年中御札等指上指示状 (天保5頃)(1834)12月18日 前田万之助→立山岩峯寺	切紙 16.0×22.2 1
前 247	五穀成就祈祷申渡状 未(天保6)(1835)2月5日 前田式部→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 14.8×38.0 1
前 248	五穀成就祈祷申渡状 申(天保7か)(1836)2月朔日 品川左門→立山岩峯寺	切紙 14.5×32.2 1
前 249	氣候立直り祈祷申渡状 申(天保7)(1836)8月24日 成瀬主税→立山岩峯寺	続紙 15.0×39.7 1
前 250	五穀成就祈祷申渡状 酉(天保8)(1837)2月朔日 品川左門→立山岩峯寺	続紙 14.7×42.5 1
証 11 31	立山雑記 天保年代か(1835)	袋綴 24.2×18.0 11枚
証 11 32	御修覆物書上帳、立山別当岩峯寺 天保8年、酉(1837)4月21日	袋綴 24.2×17.2 3枚
証 11 33	御上使ニ付御修覆所願達之控 天保8年、酉(1837)12月	袋綴 25×18 12枚
証 11 34	文化年中公事場争論御尋ニ付答書上之写 天保8年、酉(1837)	袋綴 24×18 21枚
前 252	五穀成就祈祷申渡状 戌(天保9)(1838)2月朔日 品川左門→立山岩峯寺	切紙 15.3×36.0 1
前 253	立山大権現麓遷宮御札 カンマーン(下書) 天保9年(1838)4月吉祥日 別当岩峯寺	続紙 93.8×24.3 1
前 254	立山大権現麓遷宮御札 キリーク(下書) 天保9年(1838)4月吉祥日 別当岩峯寺	続紙 93.8×24.3 1
前 255	天氣順正祈祷格別修行に付白銀指遣状 戌(天保9)(1838)7月 立山芦峯寺・岩峯寺	続紙 15.5×48.5 1
証 11 35	天候不順ニ付御祈祷一件(仮題)他 天保9年、戌(1838) 天保10御貸米願、天保11峯本社再建上申、衆徒国外罷越申告等を含む	袋綴 24.5×17
証 11 36	立山峯本社再建図り書及仮殿関係書状 天保11年(1840)	折紙及切紙4通 12.5×34他 5
前 257	五穀成就祈祷申渡状 亥(天保10)(1839)2月朔日 品川左門→立山岩峯寺	続紙 14.7×30.8 1
前 258	順氣立直り祈祷申渡状 亥(天保10)(1839)3月13日 篠原織部→立山岩峯寺	続紙 15.2×57.5 1

前 259	売上代銀請取書 亥(天保10か)(1839)12月17日 御所村屋清兵衛→岩峯寺	切紙 16.3×46.0 1
前 260	五穀成就祈祷申渡状 子(天保11)(1840)2月	切紙 15.0×31.8 1
前 262	五穀成就祈祷申渡状 子(天保11)(1840)2月朔日 品川左門→立山岩峯寺	続紙 14.8×32.8 1
多 11 21	越中立山室堂建修理仕様書 子(天保11か)(1840)6月	袋綴 24.3×17.5 4枚
前 263	立山峯本社大破急速再建注進状(控) 子(天保11)(1840)6月 立山□□□衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×43.0 1
前 264	立山峯本社仮殿造営并檀ヶ原御林山木材伐出の件一札上申書(控) 子7月 立山別当岩峯寺衆徒中→中西惣右衛門・早川数之助	続紙 24.0×64.3 1
前 265	覚、檀ヶ原伐出杉材極印奉願書(控) 子7月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×32.3 1
前 266	立山峯本社仮殿再建請書(控) 子7月 立山岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×32.5 1
前 267	立山峯本社仮殿造営引足銀加被願書(控) 子8月 立山岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.3×88.5 1
前 268	立山峯本社仮引請普請拂方明細書 子8月	続紙 22.5×94.3 1
前 269	覚、呼立出府請書 8月15日 立山別当岩峯寺→寺社奉行所	続紙 24.3×31.2 1
前 270	青蓮院坊官挨拶状 子(天保11)(1840)11月 進藤刑部卿法印等3名	折紙 45.2×75.2 1
前 271	五穀成就祈祷申渡状 丑(天保12)(1841)閏正月15日 篠原織部→立山岩峯寺	切紙 15.8×41.0 1
延 11 37	立山峯本社修覆関連書状 天保12年(1841)4~7月	切紙6通 14.7×73他 6
延 11 38	御本社再建萬事留置 天保12年(1841)	袋綴 24.5×17.7 23枚
延 11 39	峰本社建替明年ニ見合可申仰渡問答書写一冊 天保12年、丑(1841)3月	袋綴 24×17.7 10枚
前 276	五穀成就祈祷申渡状 寅(天保13)(1842)2月朔日 織田左近→立山岩峯寺	切紙 15.5×36.0 1
前 277	三ヶ寺御領国相对勸化認可状 寅3月 越中立山岩峯寺 野町千手院・長屋谷伝燈寺	続紙 14.5×77.8 1

前 278	岩峯寺領国勸化の内意状	続紙 14.3×35.7 1
前 279	立山権現末社自普請勸化認可状 寅(天保13)(1842)3月 品川左門等3名→立山岩峯寺衆徒中	続紙 16.2×177.5 1
前 280	相公様御氣滞快全祈祷伺書 (天保13)(1842)6月6日 立山岩峯寺惣代密蔵坊→寺社奉行所	切紙 15.8×26.1 1
前 281	相公様不例全快祈祷申渡状 (天保13)(1842)6月 篠原織部→立山岩峯寺衆徒中	続紙 15.4×79.2 1
前 282	相公様不例全快祈祷申渡状 寅6月21日 篠原織部→立山岩峯寺	続紙 15.6×68.0 1
前 283	御用に付出頭指示状 6月22日 篠原織部→岩峯寺衆徒中	切紙 14.9×20.8 1
前 284	相公様不例快然祈祷申渡状 6月21日 三田村佐七郎・音地儀左衛門→立山岩峯寺衆徒中	続紙 14.9×36.3 1
前 285	寺社所へ出頭指示状 6月21日 立山岩峯寺衆徒之内	切紙 15.0×16.2 1
前 286	立山大権現麓遷宮御札 キリーク(下書) 天保13年(1842)6月吉日 別当岩峯寺	続紙 100.5×24.2 1
前 287	立山大権現麓遷宮御札 カンマーン(下書) 天保13年(1842)6月吉日 別当岩峯寺	続紙 100.5×24.2 1
前 288	相公様御不例全快祈祷満参後も継続の段に付連絡状 寅(天保13年)(1842)8月 寺社奉行江	続紙 15.8×53.4 1
多 1 1 2 2	立山温泉之儀有峯領のことに付申開状 寅(天保13か)(1842)12月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24×67.3 1
多 1 1 2 3	湯起釜修覆図り書指出し指示状 (天保14)(1843)4月7日 西川七郎左衛門・三田村佐七郎→立山岩峯寺衆徒中	続紙 15.2×69.5 1
多 1 1 2 4	立山大権現湯起釜鑄懸の図り書指出し指示状 天保14年(1843)4月14日 音地儀左衛門・武田清左衛門→立山岩峯寺衆徒中	続紙 14.8×110 1
多 1 1 2 5	湯起釜寄附年限の書付提出指示状 天保14年(1843)6月3日 武田清左衛門・音地儀左衛門→立山岩峯寺衆徒中	切紙 15.5×41.5 1
多 1 1 2 6	湯起釜修覆岩峯寺引請御聞届(控) (天保14か)(1843)	切紙 16.2×15.3 1
多 1 1 2 7	立山峯本社建替の件再願状(朱入下書) 卯(天保14)(1843)7月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24×82.3 1
多 1 1 2 8	立山峯本社新木を以建替のこと再願状(控) 天保14卯年(1843)7月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24×17.5 3枚

前 289	立山本社先格通り全新木再建申渡状 癸卯(天保14)(1843)8月	続紙 15.5×98.4 (包紙あり) 1
前 427	戸帳省略所へ持参指示状 (天保15)(1844)5月3日 三田村佐七郎・武田清左衛門→立山岩峯寺衆徒中	続紙 14.8×56.5 1
前 428	戸帳等寺社所指出指示状 (天保15)(1844)5月3日	切紙 14.9×30.0 1
前 430	立山本社打敷戸帳寄附聞届申渡状 (天保15)(1844)5月27日 音地儀左衛門・武田清左衛門→立山岩峯寺衆徒中	続紙 15.7×46.1 (包紙あり) 1
前 431	峯本社戸帳打敷新調聞届例等書上状(控) (天保15)(1844)4月 立山別当岩峯寺衆徒→寺社奉行所	袋綴 24.3×17.8 17枚
前 432	峯本社打敷戸帳新調願書(控) 天保15(1844)7月 立山別当岩峯寺衆徒→寺社奉行所	続紙 24.2×52.3 1
前 433	立山小縁起 天保年代	一卷 39.5×669.3 1
前 487	五穀成就祈祷申渡状 辰(弘化元)(1844)2月4日 品川左門武住→立山岩峯寺	続紙 16.5×43.3 1
前 290	御用に付出頭指示状 辰(弘化元か)(1844)正月15日 品川左門	続紙 14.7×43.9 1
延 11 40	峯本社管理入念指示状 弘化元年か(1844)	続紙 15.7×66 1
延 11 41	御峯御本社正遷宮一卷 弘化2年、乙巳(1845)3月 役僧、圓林坊雄山	袋綴 24.3×18 19枚
延 11 42	立山御本社建直シ図帳 弘化2年か(1845)	袋綴 24.2×17.3 8枚
延 11 43	毎歳御祈願等行事ヶ条帳 弘化2年(1845)	袋綴 24.5×18 43枚
延 11 44	立山峯本社正遷宮関係書状等 弘化2年(1845)	切紙等4通 16.5×28他 4
前 291	相公様全快祈祷、本腹祝義被下状 (弘化2)(1845)3月	切紙 15.3×24.3 1
前 293	御本腹祝義の請書指出指示状 巳 3月2日 織田左近→立山岩峯寺	続紙 15.2×38.3 1
前 292	相公様本腹祝義請書 弘化2年 巳(1845)3月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.2×36.0 1
延 11 45	乍恐書附を以御達申上候、江戸震災手伝銀割付の件 巳、弘化2年か(1845)4月 岩峯寺衆徒、寺社奉行宛	続紙 24.2×92.2 1

㊥ 1 1 0 6	加行中教誡 弘化2年(1845)	一卷 31.5×268 1
㊥ 1 1 0 7	法式日勤行事	一卷 30.5×493 1
㊥ 1 1 0 8	前行作法、他 弘化2年(1845)	折紙 30×41 1
㊥ 1 1 0 9	十八道七ヶ日間巻数案文 弘化2年(1845)	一紙、包紙 31.5×41 2
㊥ 1 1 1 0	書信(雄山より役寮宛) 弘化2年か(1845) 本社建替、戸帳、打敷等	続紙 15.5×180 1
㊥ 294	立山大権現遷宮御札 キリーク(下書)(峯本社) 弘化2年(1845)6月吉日	続紙 97.2×22.7 1
㊥ 295	立山大権現遷宮御札 カンマーン(下書)(峯本社) 弘化2年(1845)6月吉日	続紙 102.2×22.7 1
㊥ 362	五穀成就祈祷申渡状 午(弘化3)(1846)正月17日 松平玄蕃→立山岩峯寺	切紙 16.1×44.5 1
㊥ 297	難病除祈祷申渡状 (弘化3)(1846)8月 立山	続紙 15.0×52.3 1
㊥ 298	難病除祈祷申渡状 午 8月晦日 織田左近→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.9×51.9 1
㊥ 1 1 4 6	岩峯寺衆徒材木伐取方につき 午、弘化3年(1846)閏5月2日 新川郡奉行→算用場	続紙 16×158 1
㊥ 1 1 2 9	立山温泉潤色銀減額ニ付再願(朱書改訂) 弘化3午年(1846)6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24×106.7 1
㊥ 299	御用ニ付出頭指示状 8月28日 織田左近→岩峯寺	切紙 15.6×22.7 1
㊥ 300	御用番年寄の覚書達し状 9月朔日 織田左近→立山岩峯寺	切紙 15.7×31.0 1
㊥ 1 1 3 0	立山温泉潤色銀減額ニ付再願(朱書改訂) 弘化3午年(1846)8月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.2×71.6 1
㊥ 1 1 3 1	立山温泉潤色銀減額ニ付重而奉願(朱書改訂) 弘化3午年(1846)12月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24.0×36.7 1
㊥ 1 1 3 2	温泉潤色銀減額并立山下と名称改ニ付重而奉願(朱書改訂) 弘化4未年(1847)5月 立山別当岩峯寺衆徒中→御郡奉行所	続紙 24.0×61.0 1
㊥ 1 1 1 1	加州石川郡廻檀牒 弘化4年(1847) 別当岩峯寺宿院中道坊	袋綴 24×17.5 2 2枚綴

㊥ 1 1 1 2	立山大権現御初穂志記帳 嘉永元年(1848) 加賀石川郡氏子中、宿院中道坊	袋綴 28×19 1 2枚綴
㊥ 301	祈祷申渡状 未(弘化4)(1847)2月27日 伊藤主馬→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.6×38.2 1
㊥ 368	五穀成就祈祷申渡状 未(弘化4)(1847)正月17日 松平玄蕃→立山岩峯寺	続紙 15.0×42.0 1
㊥ 434	前立社壇拝殿破損注進状案 弘化4年(1847)4月 立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 24.0×35.6 1
㊥ 302	五穀成就祈祷申渡状 申(嘉永元)(1848)正月24日 伊藤主馬→立山岩峯寺	切紙 15.1×48.3 1
㊥ 303	祈祷申渡状 申(嘉永元)(1848)正月24日 伊藤主馬→立山岩峯寺	切紙 15.8×33.9 1
㊥ 304	作事奉行破損見分連絡状 3月朔日 三田村佐七郎・岡本三郎太夫→岩峯寺	切紙 15.7×21.5 (包紙あり) 1
㊥ 382	五穀成就祈祷申渡状 酉(嘉永2)(1849)2月2日 松平玄蕃→立山岩峯寺	切紙 15.1×40.8 1
㊥ 309	祈祷申渡状 酉(嘉永2)(1849)3月朔日 伊藤主馬→立山岩峯寺	切紙 15.8×27.4 1
㊥ 310	相公様参府道中安全祈祷札指上に付白銀被下状 酉(嘉永2)(1849)閏4月	切紙 15.5×23.6 1
㊥ 418	寺社所出府指示状 (嘉永2か)(1849)閏4月29日 岩原五右衛門・鳥山佐太夫→立山岩峯寺	切紙 16.2×27.8 1
㊥ 1 1 4 7	相公様江戸表御発駕ニ付御祈祷仕御札ノ扣紙面等入 嘉永2、酉年(1849)3月	一紙6枚并包紙 24×35他 6
㊥ 311	大御所様快然祈祷申渡状 (嘉永2)(1849)閏4月	切紙 16.7×39.7 1
㊥ 312	寺社奉行添書 酉 閏4月16日 篠原監物→立山岩峯寺	切紙 15.2×27.2 1
㊥ 313	五穀成就祈祷申渡状 戌(嘉永3)(1850)正月22日 伊藤主馬→立山岩峯寺	続紙 15.8×31.4 1
㊥ 320	祈祷申渡状 戌(嘉永3)(1850)7月4日 大音帯刀→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.2×27.7 1
㊥ 340	御用に付、出府指示状 (嘉永3頃)(1850)4月3日 榊原三郎兵衛・岩原五右衛門→立山岩峯寺	切紙 15.4×37.0 1
㊥ 314	栄操院様快然祈祷申渡状 戌 10月晦日 伊藤主馬→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.9×58.4 1

㊦ 315	忌中に付歳暮祈祷卷子等の件指示状 (嘉永3)(1850)11月23日 高橋信次郎・榊原三郎兵衛→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.6×37.1 1
㊦ 316	立山権現御供焚所の鎖鍵修復の件指示状 11月14日 高橋信次郎・榊原三郎兵衛→立山岩峯寺衆徒中	続紙 14.9×56.6 1
㊦ 496	御札森下屋長兵衛取斗ひ指出の件連絡状 (嘉永3頃)(1850)8月5日 岩原五右衛門・高橋信次郎→立山岩峯寺衆徒中	続紙 15.3×36.0 1
㊦ 497	御札早速寺社所指出指示状 (嘉永3頃)(1850)8月4日 岩原五右衛門・高橋信次郎→立山岩峯寺衆徒中	切紙 15.3×30.2 1
㊦ 499	修理才許等近々破損見分連絡状 (嘉永3頃)(1850)2月25日 榊原三郎兵衛・岩原五右衛門→岩峯寺	続紙 15.3×22.7 1
㊦ 317	来年頭御札等献上物の件指示状 戌 12月10日 前田内蔵等3名→岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.3×46.6 1
㊦ 318	五穀成就祈祷申渡状 亥(嘉永4)(1851)2月朔日 伊藤主馬→立山岩峯寺	切紙 15.9×35.1 1
㊦ 187	五穀成就祈祷申渡状 子(嘉永5)(1852)正月24日 前田内蔵助→立山岩峯寺	続紙 15.5×53.0 1
㊦ 498	衆徒老人寺社所出頭指示状 (嘉永5頃)(1852)8月12日 前田外記→立山岩峯寺	切紙 15.5×30.8 1
㊦ 11 33	高德院様二百五拾回忌大法要執行仕度寄進願状 嘉永4亥年(1851)2月 目代惣代2名→神保嘉一郎様等15名	続紙 24×175 1
㊦ 319	氣候立直祈祷申渡状 亥 6月 立山岩峯寺	切紙 16.1×29.3 1
㊦ 321	覚、室堂修覆一作引請代銀請取書 嘉永5年(1852)7月 立山別当岩峯寺→中西惣右衛門	切紙 23.5×24.4 1
㊦ 322	別紙覚書の件連絡状 子 9月9日 前田図書→立山岩峯寺	切紙 15.7×35.6 1
㊦ 11 34	衣食住の儀申渡の請書不出(下書) 子(嘉永5)(1852)8月 岩峯寺目代→新、兵三郎殿	一紙 24×35.6 1
㊦ 11 35	衣食住縮方の請書寺社所へ指上ニ付申達状(写) 壬子(嘉永5)(1852)9月 立山芦峯寺→兵三郎殿	一紙 24×35.2 1
㊦ 11 36	衣食住之儀請書御見延申入状(控) 子(嘉永5か)(1852)9月 岩峯寺目代→新堀村兵三郎	切紙 24×23.5 1
㊦ 11 37	鷹見ヶ原近辺へ前川切込ニ付御普請注進状(下書) 壬子(嘉永5)(1852)9月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24×70.3 1
㊦ 11 38	目代名で塩買入ニ付御窺状(下書) 子(嘉永5)(1852)10月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24×35.5 1

⑧ 1 1 3 9	目代名で塩買入ニ付御窺状(控) 子(嘉永5)(1852)10月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24×35.5 1
⑧ 1 1 4 0	流木衆徒へ仰付願并筑前守様祈禱伺、綴(仮題) 丑(嘉永6)(1853)6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24.2×17.2 5枚
⑧ 323	五穀成就祈禱申渡状 丑(嘉永6)(1853)2月8日 前田外記→立山岩峯寺	続紙 15.6×49.4 1
⑧ 324	山川潤沢五穀成就祈禱申渡状付両寺宛文書取扱奥書 丑 5月9日 前田外記→立山岩峯寺・芦峯寺	切紙2枚 15.3×50.3 23.6×16.3 2
⑧ 325	諸寺庵風俗不行届の件申渡状(写) (嘉永6)(1853)5月	続紙 14.8×98.5 1
⑧ 326	別紙写の件配下寺庵へ申渡状 8月 前田外記→立山岩峯寺	続紙 14.8×45.3 1
⑧ 329	世上不穩祈禱指上に不及の連絡状 (嘉永7か)(1854)9月6日 岡本三郎太夫・鳥山佐太夫→立山岩峯寺	続紙 15.8×37.6 1
⑧ 1 3 3	平田篤胤撰、毎朝神拝詞記筆写 嘉永3年(1850)3月	袋綴 24.2×18 15枚
⑧ 1 3 4	往来一冊品々、延命院、玄清 嘉永7年(1854)	袋綴 24×17.7 44枚
⑧ 1 1 4 8	身分支配方再応願書 壹巻 嘉永6、丑年(1853)3月 癸丑4月～酉、文久元7月	袋綴 24.4×18.8 66枚
⑧ 1 1 4 9	芦峯寺紙面之写 嘉永6年(1853)4月 立山芦峯寺発、寺社奉行所宛	袋綴 24.2×17.8 8枚
⑧ 1 1 5 0	立山縁起 嘉永6、丑年(1853)8月 玄清、五冊之内第三	袋綴 24×17.8 14枚
⑧ 1 1 5 1	前立社壇屋根雪損、下遷宮修覆申達一件 丑、嘉永6年か(1853)2、9月	一紙3通 24.4×38.8他 3
⑧ 1 1 5 2	峰室堂建修理願出発起元願紙面催促書共控一卷 嘉永6、丑年(1853) 明治2巳迄合綴	袋綴 25×18 47枚
⑧ 435	衆徒身分支配に関する歎願書(控) 丑(嘉永6)(1853)6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 25.0×89.6 1
⑧ 436	衆徒身分支配に関する歎願書(控) 丑 6月 衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.9×144.3 1
⑧ 437	衆徒身分支配に関する歎願書(控) 丑 6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.0×130.0 1
⑧ 438	衆徒身分支配に関する請書(控) 丑(嘉永6)(1853)9月 岩峯寺目代・衆徒→新堀村十村・寺社奉行所	一紙 24.3×35.6 1

㊦ 439	身支配方請書指出催促状(写) 丑(嘉永6)(1853)9月28日 新堀村兵三郎→立山岩峯寺・芦峯寺	一紙 24.2×35.7 1
㊦ 440	身支配方裁判の件歎願書 嘉永6 丑(1853)10月 岩峯寺日代・寺社奉行所	続紙 24.0×109.2 1
㊦ 441	身支配方の件歎願書(下書) 寅(嘉永7)(1854)8月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×102.5 1
㊦ 442	身支配方の件歎願書(下書) 嘉永7(1854)8月 芦峯寺衆徒→寺社奉行所	一紙 24.0×36.0 1
㊦ 443	身支配方につき僉儀催促状(控) 嘉永7 寅(1854)10月12日 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×35.5 1
㊦ 444	身支配方につき僉儀歎願書(控) 嘉永7 寅(1854)10月12日 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×35.7 1
㊦ 5	加州石川半郡廻檀諸事控 嘉永7 寅(1854) 辰・巳等4冊一括	横半帳 12.0×17.0 47枚
㊦ 11 17	石川郡等配札一時見合わせの件、他(仮題) 嘉永3年(1850) 朽木平左衛門指示あり	袋綴付加長帳 24.2×17.7 12.2×34.2 5枚+5+2
㊦ 11 18	仏奉加施授納帳 嘉永4年(1851) 加賀石川郡 中道坊行応	横半帳 18×12.2 16枚綴
㊦ 11 19	石川半郡村々印鑑帳 嘉永7年(1854) 立山岩峯寺中道坊	横半帳 17.8×12 14枚綴
㊦ 11 20	覚、初穂銀納付控(仮題) 不詳 氷見方面村々 立山中道坊	切紙 15.5×32.5他 3通
㊦ 11 21	室堂修理の件催促旁々奉願上(下書) 嘉永6年か(1853)	一紙 24×34.8 1
㊦ 11 13	書信 立山温泉関連 嘉永末~安政初(1850頃) 前田内蔵助内村井覚左衛門→実相坊・中道坊	続紙 16.5×74.3 15×57.5 2通
㊦ 11 14	書信 前田内蔵助内蒸右衛門宛下書←中道坊 嘉永末~安政初(1850頃)	折紙 32×46 1
㊦ 11 15	書信 前田内蔵助内竹内弥一→中道坊 嘉永末~安政初(1850頃)	続紙 15.8×60 14.7×67 2通
㊦ 11 16	書信 前田内蔵助内不破弥太郎・林宇吉郎→中道坊 嘉永末~安政初(1850頃)	続紙 12.7×26.5 12.7×27 2通
㊦ 445	身支配方につき僉儀歎願書(控) 嘉永7 寅(1854)10月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×102.7 1
㊦ 11 41	五穀成就祈禱料申渡及請取書 嘉永7年(1854)2月 榊原三郎兵衛・岩原五右衛門→小弘所→立山別当岩峯寺	一紙仮綴 25×35.5 4枚

㊦ 1 1 4 2	不動堂辺出現尊像ノ開帳ニ付御達状 卯(安政2か)(1855)9月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24×33 1
㊧ 1 1 5 3	立山小縁起一卷 安政2、卯年(1855)正月 玄清、五冊之内第三	袋綴 24.3×17.8 2 1枚
㊧ 1 1 5 4	御絵讃談、立山手引草(仮題) 安政2年ころ(1855) 玄清書之	袋綴 24.2×18 3 5枚
㊧ 1 1 5 5	前建御神前箱棟損壊下遷宮及遷宮一件 安政2、卯年(1855)1、4月	続紙、一紙5通 24×35.5他 6
㊦ 489	五穀成就祈祷申渡状 寅(安政元)(1854)2月2日 山崎七郎左衛門→立山岩峯寺	続紙 16.2×69.8 1
㊦ 190	五穀成就祈祷申渡状 卯(安政2)(1855)2月朔日 前田内蔵助→立山岩峯寺	切紙 15.3×35.7 1
㊦ 330	立山大権現遷宮御札 キリーク(下書)(麓) 安政2年(1855)4月吉日 別当岩峯寺	続紙 106.5×22.7 1
㊦ 331	立山大権現遷宮御札 カンマーン(下書)(麓) 安政2年(1855)4月吉日 別当岩峯寺	続紙 105.5×22.7 1
㊦ 332	御前様快然祈祷申渡状 (安政2)(1855)8月 立山	続紙 15.3×31.4 1
㊦ 446	身支配方につき僉儀嘆願書(控) 卯(安政2)(1855)2月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×125.8 1
㊦ 447	身支配方につき僉儀嘆願書(控) 卯(安政2)(1855)2月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×105.8 1
㊦ 1 1 2 2	警字睥睨出前 嘉永頃 手製辞書、諸留	横半帳 17.8×12.3 3 6枚
㊦ 1 1 2 3	立山略由来記上巻 安政2年(1855) 中道坊行応写	袋綴 24.5×17.7 2 2枚
㊦ 448	身支配方につき僉儀嘆願書(控) 辰(安政3)(1856)正月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×46.3 1
㊦ 449	身支配方につき僉儀嘆願書(控) 辰(安政3)(1856)5月4日 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×36.0 1
㊦ 492	五穀成就祈祷申渡状 辰(安政3)(1856)2月3日 山崎七郎左衛門→立山岩峯寺	続紙 15.8×67.0 1
㊦ 339	中納言任官祝の鯛等請取心得違に付達し状(写) (安政3)(1856)4月	続紙 15.5×141.6 (包紙あり) 1
㊦ 341	岩峯寺門前の赤飯は寺社奉行よりとの連絡状(写) 辰 5月23日 三田村佐七郎・榊原三郎兵衛	続紙 15.2×46.6 1

㊦ 342	任官祝の赤飯小札を以て受取る様指示状 6月4日 三田村佐七郎・榊原三郎兵衛→立山岩峯寺	切紙 15.8×37.0 1
㊦ 343	小札差出指示状 5月4日 榊原三郎兵衛・岡本三郎太夫→岩峯寺	切紙 15.0×29.3 1
㊦ 344	立山開山以来の宗掟行法等の諸記録提出指示状 12月25日 榊原三郎兵衛・岡本三郎太夫→立山岩峯寺	続紙 15.3×47.3 1
㊦ 345	宗門帳差出指示状 4月23日 高橋信次郎・岡本三郎太夫→立山岩峯寺	切紙 14.9×17.4 1
㊦ 11 24	中納言様任官祝錫辞退処置の件請書(下書) 安政4年(1857) 肉食禁制と旧記糾明 衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24×18 3枚
㊦ 350	永代祠堂銀・弟子出世銀等指出指示状 正月 藤沢三九郎・坂井仙之丞→岩峯寺・芦峯寺	続紙 16.6×54.2 1
㊦ 351	境内杉伐木極印の件連絡状 2月29日 藤沢三九郎・坂井仙之丞→立山岩峯寺	切紙 16.6×30.7 1
㊦ 490	五穀成就祈祷申渡状 巳(安政4)(1857)2月16日 山崎七郎左衛門→立山岩峯寺	続紙 15.7×67.2 1
㊦ 354	立山峯本社大破につき御見分仮殿建替等上申書 巳(安政4)(1857)7月5日 立山別当岩峯寺衆徒→寺社奉行所	続紙 23.7×39.7 1
㊦ 355	立山峯本社大破につき急々見分等催促状 安政4年(1857)7月 立山別当岩峯寺衆徒→寺社奉行所	一紙 23.9×35.4 1
㊦ 356	立山仮殿建替伐木極印役人の指向依頼状 安政4年(1857)8月15日 岩峯寺衆徒役僧→御郡奉行所	一紙 24.1×29.9 1
㊦ 357	立山峯本尊下遷宮の件上申書 安政4年(1857)9月 立山別当岩峯寺衆徒→寺社 織田左近	一紙 23.9×35.5 1
㊦ 358	立山室堂修理明年材木伐出の件願上書 安政4年(1857)12月29日 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 23.8×35.8 (包紙あり) 1
㊦ 359	立山峯本社建替材木来春伐出の件願上書 安政4年(1857)12月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.9×43.2 1
㊦ 360	立山峯本社建替材木当春伐出の件願上書 安政5年 午(1858)正月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.9×54.1 1
㊦ 361	立山峯室堂建替材木当春伐出の件願上書 午(安政5)(1858)正月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.8×52.2 1
㊦ 296	五穀成就祈祷申渡状 午(安政5)(1858)正月25日 前田外記→立山岩峯寺	続紙 15.9×51.6 1
㊦ 363	立山大権現麓前立社壇屋根風損につき註進状 午(安政5か)(1858)2月29日 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.2×35.5 1

前 364	立山峯本社再建一作当山へ引渡仰出の件再合儀歎願書 午(安政5)(1858)2月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.8×108.0 1
前 365	立山峯本社再建催促状 午(安政5)(1858)3月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	一紙 24.0×35.5 1
前 450	身支配方につき僉儀歎願書(控) 午(安政5)(1858)正月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×99.9 1
延 135	前田家国主時代金沢城住家来武鑑 安政6年(1859)11月	横半帳 12.2×17.7 151枚
前 369	五穀成就祈祷申渡状 未(安政6年)(1859)2月13日 織田左近→立山岩峯寺	切紙 15.8×45.7 1
前 370	立山峯本社再建催促状(控) 未(安政6)(1859)3月 立山□□□衆徒中→寺社奉行所	続紙 24.0×47.5 1
前 469	祈祷札催促状 未(安政6)(1859)8月6日 品川左門(武好)→立山岩峯寺	続紙 15.8×31.1 1
延 1156	枯木売木ニ関り身支配ノ儀奉願 未(安政6か)(1859)11月 寺社奉行所宛、頭部分欠損、関連文書一通含む	続紙 16.2×91他 3枚
延 1157	立山峯本社立替関係書状等 安政6年(1859)	切紙5通 15×27.5他 5
延 1158	立山開帳靈仏略縁起並立山尊拜略縁起 萬延元年、庚申(1860)林鐘	袋綴 24.4×18.5 14枚
前 451	立山衆徒出身支配方申渡状(写) 申(萬延元)(1860)11月 算用場→郡奉行・寺社奉行→十村→岩峯寺目代	続紙 15.0×189.8 1
前 408	御報賽祈祷申渡状 (万延元か)(1860)正月 立山岩峯寺	続紙 15.0×35.7 1
前 409	御報賽祈祷申渡状 申(万延元か)(1860)正月27日 立山岩峯寺→寺社奉行所	切紙 15.9×32.5 1
前 371	岩峯寺衆徒等の身分、寺社奉行一向支配仰渡の件請書 申(万延元)(1860)3月 岩峯寺目代→神保助三郎・伊東彦四郎	続紙 14.8×30.5 1
前 372	立山峯本社建替出来につき引渡の件連絡状 (万延元)(1860)5月28日 中村仁次郎→岩峯寺衆徒中	続紙 15.3×27.0 1
前 373	立山正遷宮の戸帳等御渡置の物で相辨の事申渡 万延元年(1860)6月	続紙 15.0×61.2 1
前 374	立山大権現峯本社遷宮札 キリーク(下書) 万延元年(1860)6月吉日 別当岩峯寺	続紙 106.9×22.9 1
前 375	立山大権現峯本社遷宮札 カンマーン(下書) 万延元年(1860)6月吉日 別当岩峯寺	続紙 107.0×22.9 1

㊦ 376	立山本社正遷宮入用銀、勝手方より仰渡の件連絡状 申 6月17日	切紙 16.0×39.2 1
㊦ 377	来酉年五性相尅につき祈祷の件申入の件承届書 (万延元)(1860)6月	続紙 16.2×33.5 1
㊦ 379	岩峯寺芦峯寺衆徒身分、高方の支配の件申渡状 申(万延元)(1860)11月	続紙 14.9×246.1 (包紙あり) 1
㊦ 380	岩峯寺芦峯寺衆徒身分、高方の支配の件申渡状 申(万延元)(1860)12月 郡奉行→高野組当分才許十村	切紙 15.0×37.0 1
㊦ 11 43	開帳等御入芳札書上 (万延元か)(1860)	続紙 15×281 1
㊦ 11 44	立山参詣人は目代不支配に付申開状(控) 酉(文久元)(1861)3月28日	一紙 24.3×35.6 1
㊦ 11 45	御郡奉行等湯川水源等見分=付御達状(控) 文久元年(1861)7月5日 衆徒中→寺社御奉行所	続紙 23.8×69 1
㊦ 11 46	衆徒中身支配方之儀、并御請書指出の儀留(仮題) 文久元、酉年(1861)7月	袋綴 24×17.5 8枚
㊦ 11 47	御郡奉行廻村の節、両寺目代衆徒申開の御達状写 酉(文久元)(1861)8・9月 新川郡奉行→算用場→年寄衆御用番	袋綴 24×17.7 4枚
㊦ 11 48	御郡廻之節の請書可指出指示状(仮題) 文久元、酉年(1861)11月 御郡奉行→十村→岩峯寺目代	袋綴 24×17.2 3枚
㊦ 11 49	覚、受取書并清算控 酉年12月25日 森下屋長兵衛→無動坊様	折紙 16.3×15.8 24×35.7 2枚綴
㊦ 381	五穀成就祈祷申渡状 (文久元)酉(1861)2月5日 品川左門→立山岩峯寺	続紙 16.0×46.4 1
㊦ 383	立山衆徒の支配について申渡状(写) 酉(文久元)(1861)3月・7月	続紙 15.4×152.5 1
㊦ 385	身支配に関する沙汰なき事等註進状 文久元 酉(1861)5月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.8×69.6 1
㊦ 488	身支配方催促奉願状(下書) 文久元 酉(1861)5月 立山岩峯寺・芦峯寺→寺社御奉行所	続紙 24.0×97.3 1
㊦ 386	辛酉五性相尅の祈祷申渡状(写) (文久元)(1861)5月 寺社奉行江	続紙 15.7×40.9 1
㊦ 387	添状 5月16日 高橋信次郎・岩原五右衛門→立山岩峯寺	続紙 15.7×27.4 1
㊦ 11 25	御領國中惣勸化願(仮題、控) 万延元年(1860) 御奉行所	袋綴 24.3×17.5 6枚

㊥ 1 1 2 6	惣勸化万人講仰付催促状（仮題、控） 文久元年酉（1861） 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続綴 24.0×118.0 1
㊥ 1 1 2 7	六ヶ坊転地之義改而奉願（下書） 申、万延元年（1860） 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 各24×35.5 2通
㊥ 1 1 2 8	覚乗坊再建之儀ニ付願一件（下書） 酉、文久元年（1861）	袋綴 24×17.2 4枚
㊥ 1 1 2 9	刀尾天神本社等再建願（仮題、控） 文久元年（1861） 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.3×130.0 1
㊥ 1 1 3 0	別山等諸堂社修覆拝借銀願（仮題、控） 文久元年（1861） 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.3×106.0 1
㊥ 1 1 3 1	書信 末社再建の爲金壺両受取案内状 （文久元か）（1861）7月25日 室堂より→麓覚乗坊様	一紙 23.5×33.0 1
㊥ 1 1 3 2	諸堂再建領国内総勸化の件催促状（仮題、控） 酉（文久元）（1861） 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.0×55.3 1
㊥ 1 1 3 3	立山大権現諸末社修復出開帳嘆願（仮題、控） 文久元年（1861） 酉11月～戌3月4通 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24.5×17.8 6枚
㊥ 1 1 3 4	立山大権現出開帳願他一括綴（仮題、控） 文久2年（1862） 請書、宿寺書、人馬願他 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一括綴 24.5×34.5 10通
㊥ 1 1 5 9	立山大権現末社修復出開帳認可状 文久2年（1862）7月 篠原織部・品川左門・織田左近発、立山岩峯寺宛	続紙 17.7×111.3 1
㊥ 1 1 3 5	立山権現領国中出開帳通知写（仮題） 戌（1862） 寺社奉行、郡奉行、十村等4件	続紙 15.5×110.5 1
㊥ 1 1 3 6	出開帳日替届、開帳取極書、定書等一括 文久2年（1862） 戌年秋の關係分一括、千光院、法善寺、徳城寺	一紙、続紙 24.2×36.3 23.8×87.8 4
㊥ 1 1 3 7	出開帳日替届、人馬継立先觸覚書 文久3年（1863） 亥年春の關係分一括 岩峯寺→能登方面宿々村々	一紙、折紙 24.0×35.3 34.4×50.6 2
㊥ 1 1 3 8	出開帳中富山領内人馬継立依頼（仮題、下書） 文久3年（1863）	一紙 24.0×35.0 2
㊥ 388	五穀成就祈祷申渡状 戌（文久2）（1862）2月4日 織田左近→立山岩峯寺	続紙 15.4×41.3 1
㊥ 391	立山大権現領国中并富山領内出開帳承届状（写） 文久2年（1862）7月 篠原織部等3名→立山岩峯寺	続紙 15.0×47.3 （包紙あり） 1
㊥ 392	出開帳宿継人馬聞届書 （文久2）（1862）7月21日 岩原五右衛門・藤沢三九郎→立山岩峯寺	続紙 15.7×30.1 1
㊥ 393	祈祷申渡状 戌（文久2）（1862）閏8月17日 品川左門→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.9×36.2 1

㊦ 256	五穀成就祈禱申渡状 亥(文久3)(1863)正月16日 篠原織部→立山岩峯寺	続紙 15.7×29.8 1
㊦ 13 6	豊臣秀吉公御武鑑全 文久2、戌年(1862)8月中 附徳川幕府時代武鑑	横半帳 12×18 25枚
㊦ 13 7	浄室全光大姉香奠帳 文久2、戌年(1862)8月26日 玄清妻くに麻疹により死去	長帳 34.5×12 4枚
㊦ 13 8	長吏権大僧都法印実圓大和尚香奠帳 文久3、亥年(1863)正月4日 玄清父死去	長帳 34×12.2 5枚
㊦ 11 50	越中国立山大権現略御縁起(写) 文久三稔癸亥年(1863) (木板裏)文久三稔癸亥 金澤開帳砌再板 元永泉坊の蔵板なり	一紙(木版刷) 25×34 1
㊦ 389	出開帳人馬継立聞届書 (文久3)(1863)3月9日 高橋信次郎・藤沢三九郎→立山岩峯寺	切紙 15.7×31.2 1
㊦ 390	覚、出開帳人馬継立聞届書 (文久3)(1863)3月26日 算用場→林太夫・金谷与十郎	切紙 15.8×43.2 1
㊦ 11 39	出開帳取極書、開帳中定書 文久3年(1863) 亥年春の7寺分	各続紙、包紙 24.0×50.7他 8
㊦ 11 40	心得覚、出開帳に関する通知状(写) 文久3年(1863) 人馬継立、余荷銭等 算用場→郡奉行→十村→村役人	続紙 15.6×92.7 1
㊦ 11 41	出開帳取極書、開帳中定書 文久3年(1863) 亥年秋の2寺分 誓圓寺、観音院	続紙、一紙、包紙 24.6×103.2 24.0×35.4 3
㊦ 11 42	卯辰観音院出開帳の折の所作の件(仮題、控) 文久3年か(1863)	一紙 23.8×34.3 1
㊦ 11 43	出開帳宿寺変更の件、他 文久4年(1864) 子年春の関係分	各一紙 24.3×36.0 2
㊦ 11 44	出開帳取極書、開帳中定書 元治元年(1864) 子年春の4寺分 西福寺、真寿寺、寛仁寺、浄蓮社	各続紙、包紙 23.8×66.6他 4
㊦ 11 45	開帳中定書之事(戌5月発送) 元治元年(1864) 子年秋八尾宝幢寺の分	続紙 24×60 1
㊦ 11 46	開帳中定書之事 丑 岩峯寺より来迎寺宛	一紙 24×34.5 1
㊦ 11 60	天下宗門檀那請合掟 切支丹ニ附 元治元年、子(1864)2月 并波浄蓮社ニおいて 慶長18年文書の写	袋綴 24×17.7 6枚
㊦ 395	上京道中安全祈禱申渡状 (文久3か)(1863)10月 立山岩峯寺	続紙 16.0×58.7 1
㊦ 272	五穀成就祈禱申渡状 丑(元治2)(1865)2月2日 成瀬主税→立山岩峯寺	続紙 15.5×45.7 1

前 401	立山大権現遷宮札 キリーク（下書）（麓か） 慶応元年（1865）10月吉日 別当岩峯寺	続紙 105.0×22.8 1
前 402	立山大権現遷宮札 カンマーン（下書）（麓か） 慶応元年（1865）10月吉日 別当岩峯寺	続紙 104.6×22.8 1
⊕ 1 1 4 7	覚、初穂銀受取書控 慶應元年（1865） 立山別当岩峯寺中道坊→松任町肝煎	一紙 24.2×35.3 1
⊕ 1 1 4 8	初穂銀受取礼状控 不詳、極月13日 松任町肝煎←中道坊	折紙 32.8×44.5 1
⊕ 1 1 4 9	覚（木具代受取） 丑 挽物屋次平→岩峯寺様	切紙 15×18 1
⊕ 1 1 5 0	覚（紙代受取書） 金沢紙屋庄右エ門	切紙 24.5×24 1
⊕ 1 1 5 1	覚（寺社御用状受取） 丑 芦峯寺→岩峯寺様	一紙 24×35 1
⊗ 1 1 5 3	円光坊被盜物の書改め御達状 未年3月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24×35 1
⊗ 1 1 5 4	立山護摩佛具御修覆願帳、別当岩峯寺 丑（嘉永6か）（1853）7月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	袋綴 24.2×17.7 6枚
⊗ 1 1 5 5	立山参詣桑ヶ谷小屋にて一夜雨凌ニ付注進状（控） 申 6月 岩峯寺目代→御郡奉行所	一紙 24×34.6 1
⊗ 1 1 5 6	立山参詣人式人桑ヶ谷小屋止宿に付御達状（控） 申 6月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	一紙 24×34.6 6枚
前 239	立山大権現富山表出開帳に付人馬継立連絡状 丑（慶応元）（1865）7月18日 多賀源介→三宅平助 寺嶋鍊太郎→道筋村々才許 立三郎→利田宮路村役人	続紙 15.0×65.5 1
延 1 3 9	当切指引方について連絡状 卯、慶応3年（1867）7月7日 延命院←半次郎	切紙 15.2×30.4 1
延 1 3 1 0	書状、当切の清算関係 卯、慶応3年（1867）12月 延命院←半次郎	切紙5通 15.5×70他 5
延 1 3 1 1	書状、当切の清算関係 辰、慶応4年（1868）7月 延命院←茂左エ門、半次郎	切紙5通 15.5×63.5他 5
延 1 3 1 2	御戸銭請取状 未詳 6月26日 延命院	切紙 23.8×8.6 1
前 405	時候順気祈祷申渡状 未 2月 立山	続紙 15.9×40.4 1
前 406	気候立直り祈祷申渡状 7月 立山	1

前 407	五穀成就祈祷申渡状 2月 立山	続紙 15.2×29.3 1
前 410	申談の儀につき出頭指示状 6月24日 寺社所江口清左衛門→岩峯寺衆徒中	切紙 15.4×17.6 1
前 411	申談の儀につき出頭指示状 6月24日 稲坂平作・江口清左衛門→岩峯寺衆徒中	切紙 15.4×20.0 1
前 463	議定書一札之事、門前へ仮住商売の件 慶応2 寅(1866)4月 能州輪島高浦屋・請人明星坊→岩峯寺役寮中	一紙 24.2×34.8 1
延 11 61	両三度拝借いたし候処得之難ニ付年賦願 慶応2年、寅(1866)1月	袋綴 25×18 13枚
前 327	五穀成就祈祷申渡状 寅(慶応2)(1866)2月 前田図書→立山岩峯寺	続紙 15.7×52.1 1
前 412	五穀成就祈祷申渡状 卯(慶応3)(1867)2月5日 津田玄蕃→立山岩峯寺	続紙 16.2×64.4 1
前 338	五穀成就祈祷申渡状 辰(慶応4)(1868)2月4日 前田図書→立山岩峯寺	続紙 16.9×42.9 1
前 414	覚、紙面一通送付状 2月朔日 森下屋長右衛門→岩峯寺役僧中	切紙 16.1×18.4 1
前 415	本吉世尊院内拝願聞届申渡状 9月25日 平野知太夫・小原貞次郎→立山岩峯寺衆徒中	切紙 16.1×22.0 1
前 416	材木伐出仕舞の連絡状 6月24日 中村友作→岩峯寺衆徒中	続紙 16.4×27.3 1
前 417	覚、触状式通送付状 6月11日 関根津守→立山岩峯寺	切紙 15.1×17.0 1
前 426	麓前立正遷宮入用銀受取指示状 9月5日 齊田武左衛門・近藤瀬左衛門→岩峯寺	切紙 15.5×34.3 1
前 429	前立社壇屋根葺替下遷宮容許状 5月12日 小原貞次郎・音地儀左衛門→立山岩峯寺衆徒中	続紙 15.7×36.5 (包紙あり) 1
前 468	藩年寄中五穀成就祈祷書立(写) 酉 3月5日 立山・白山・能登一宮	切紙 15.8×43.0 1
前 470	気候不順ニ付祈祷指示状 未 7月朔日 織田左近→立山岩峯寺・芦峯寺	続紙 15.1×45.3 1
前 491	気候不順ニ付祈祷申渡状(写) 7月	切紙 15.5×35.7 1
前 494	当月十三日大風吹損の麓神前二カ所に付注進状(下書) 午 2月 □□□衆徒中	一紙 24.0×35.2 1

⑧ 1 1 5 8	不詳 不詳 上部破損につき不詳のこと多し	続紙 ?×66.5 1
⑧ 1 1 5 9	芦峯寺拝領材木、出水時等拾取間敷、内和定証文 2 4 坊 7 門前	続紙 22.5×63.5 一紙 (下書) 22.5×33.5 2
⑧ 外 1	御鷹師札 今石動奉行	木札 11×6.3 厚さ1.0 1
⑧ 外 2	立山峯本社大破修覆に関する上申書下書	一紙 2 枚 2
⑧ 外 3	参詣人せん義の件連絡状 7月22日	切紙 1
⑧ 外 4	立山両大権現縁起 (下書、片)	切紙 1
⑧ 1 1 6 2	本社立替材木詮議先触状、牧作右エ門 未詳 閏7月朔日 岩峯寺衆徒宛	切紙 15.5×40 1
⑧ 1 1 6 3	立山本社仮殿用材伐木催促状 未詳 …水武次郎	切紙 14.9×? 1
⑧ 1 1 6 4	藤橋修理指示状、遠田豊七、村田久左エ門 未詳 6月20日 岩峯寺目代衆徒宛	切紙 16.5×30 1
⑧ 1 1 6 5	立山秘法供諸災悉除御守	34.6×24.1 1
⑧ 1 1 6 6	呪句、札及包紙	24×15.1他
⑧ 1 3 1 3	不動金縛大事 未詳	切紙 16.7×37 1
⑧ 外 6	偈、十如是義云々	一紙 32.5×50.5 1

2. 近世、村・草高・年貢関係

前 5	衆徒神主諸役免許状 天正18年(1590)2月10日 五郎兵へ安勝→立山寺衆徒中	折紙 29.6×45.6 1
前 7	神領外の諸課役免許状 文禄5年(1596)7月3日 岡嶋備中守→岩倉寺惣中	折紙 31.2×46.7 1
前 9	岩倉・芦倉山銭免許状 慶長8年(1603)2月20日 横大膳亮→小嶋民部等	折紙 35.0×54.0 1
前 56	退転地検分引免等の処置状 寛永3年(1626)3月9日 黒田逸角・千福八郎左衛門→岩倉寺般若院・玉林坊	折紙 40.0×57.4 1
前 57	岩倉村引免の件連絡状 (寛永3)(1626)3月22日 小右京亮長知→三輪法受・宮崎蔵人	折紙 36.5×54.0 1
延 12 1	納明暦元年分御年貢米通、岩倉寺坊中 明暦元年(1655)11月21日 相済状	切紙 16.2×46 1
延 12 2	納明暦式年分御年貢米、岩倉寺村目代坊中 明暦2年(1656) 末尾部分欠落	切紙 16.6×44.7 1
延 12 3	新川郡御年貢米之事、岩嶽寺肝煎目代 寛文2年(1662)11月25日 皆済状	一紙 26.1×23 1
延 12 4	新川郡御年貢米之事、岩嶽寺肝煎目代 寛文3年(1663)11月20日 皆済状	一紙 25.6×27 1
多 12 01	越中新川郡岩嶽寺物成之事(写) 寛文10年(1670)9月7日 岩嶽寺百姓中	一紙 23.5×34.3 1
延 12 5	寛文拾年分新川郡御年貢米之事、岩嶽寺村衆徒中 寛文10年(1670)11月16日 皆済状	一紙 25.3×41.4 1
延 12 6	納寛文拾式年分御公領知御年貢米之事 寛文12年(1672)10月16日 皆済状	一紙 27.9×31.7 1
延 12 7	御公領御年貢米之事、岩嶽寺村衆徒中 延宝7年(1679)11月20日 皆済状	一紙 27.1×31.8 1
前 140	年貢皆済状 元禄元年(1688)11月20日 小川三佑→岩嶽寺村、改作奉行裏書	一紙 26.0×31.0 1
延 12 8	御公領知御年貢米之事、岩嶽寺村衆徒中 元禄3年(1690)11月19日 皆済状	一紙 27.9×31.6 1
延 12 9	元禄八年分納公領地御年貢米之事 元禄8年(1695)12月14日 皆済状	一紙 25.4×27 1
多 12 02	当年分納御公領知御年貢米皆済状 元禄9年(1696)11月17日 分部半丞→岩嶽寺村衆徒中	一紙 24.5×26.8 1

② 1 2 1 0	茂吉分諸納所并人足役等之覚 宝永2年(1705)2月8日 岩峯寺高持門前茂吉	一紙2枚綴 25×37 2枚
② 1 2 1 1	納当春夫銀之事、宮路岩峯村 宝永5年(1708)3月11日 皆済状	切紙 23.4×18.6 1
② 1 2 1 2	岩峯寺村定作食米蔵自分建直松材木奉願申帳 宝永7年(1710)5月	袋綴 22.5×17 5枚
③ 1 2 0 3	御年貢米地納願状 享保20年(1735)7月 岩峯寺衆徒中→天正寺村彦三郎殿・吉嶋村紋右衛殿	続紙 23.5×53.5 1
③ 1 2 0 4	地藏願一卷 元文2年(1737)8月 岩峯寺衆徒中→天正寺重右衛門他	袋綴 24×17.5 27枚
③ 1 2 0 5	下水願等四件合綴 寛保元年(1741)12月 下水願、高願・手上高・年季免之事 目代・衆徒中	袋綴 24.2×17 6枚
② 1 2 1 3	覚、皆済請書、岩峯寺村 寛保元年(1741)12月	一紙 23.8×34 1
③ 1 2 0 6	寛保二年分御蔵入御年貢米皆済状 寛保2年(1742)11月17日 杉若文左衛門・天正寺村彦三郎→岩峯寺村百姓中	一紙 24.6×45 1
③ 1 2 0 7	内容不詳 延享4年(1747)11月 宮路・中野新・横江・栃津等七ヶ村肝煎→岩峯寺衆徒中	切紙(前半欠) 23.2×20.5 1
② 1 2 1 4	覚、当一作引免願、岩峯寺村同名中 寛延3年(1750) 改作奉行所宛	一紙 22.7×31 1
③ 1 2 0 8	御用捨免願状 宝暦9年(1759)正月 岩峯寺衆徒中→天正寺村彦三郎殿	一紙 25.3×38.7 1
③ 1 2 0 9	引免等の思召留 (宝暦9か)(1759)	一紙 23.8×35.5 1
① 177	衆徒惣印等相渡納得定證文之事 安永5年(1776)12月 二十四坊判	一紙 23.2×42.5 1
③ 1 2 1 0	拝借米十五ヶ年賦返上願状 子、安永9年(1780)9月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	切紙 24.5×18.2 1
② 1 2 1 5	岩峯寺村江御貸米借状帳 天明3年(1783)5月 天正寺村彦右エ門、新川郡奉行宛	袋綴 24×17.5 5枚
① 493	桑谷小屋再建材伐渡ニ付口上書(控) 寛政元年(1789)6月 岩峯寺目代→天正寺村彦右衛門	一紙 24.2×35.7 1
③ 1 2 1 1	拝借米再願状(控) 辰(寛政8)(1796)3月 寺社御奉行所宛	一紙 22.5×32.2 1
③ 1 2 1 2	岩峯寺高の各所作配高等書上(控) 午5月 岩峯寺目代→天正寺十次郎殿	一紙(裏書) 24×34 1

② 1 2 1 6	納寛政十年分御蔵入返上米之事、岩峯寺衆徒中 寛政10年(1798)12月8日 御貸米当年分皆済状	一紙 24×17.7 1
③ 1 2 1 3	納文化二年分御蔵入返上米請取状 文化2年(1805)12月2日 石割村弥六→岩峯寺衆徒中	切紙 24.5×18.2 1
③ 1 2 1 4	納文化五年分御蔵入返上米皆済状 文化5年(1808)12月3日 石割村弥六→岩峯寺衆徒中	切紙 24.3×18.0 1
③ 1 2 1 5	納文化七年分御蔵入返上米請取状 文化7年(1810)12月16日 石割村弥六→岩峯寺衆徒中	切紙 24.2×26.2 1
② 1 2 1 7	去寅年諸懸り物相しらべ書上申帳、岩峯寺目代 文政2年(1819)4月	袋綴 24.5×16.8 4枚
① 220	立山地獄谷硫黄当年採取辞退上申書(控) 未(文政6)(1823)4月 岩峯寺目代→天正寺伊三右衛門	切紙 15.6×37.0 1
① 222	立山地獄谷硫黄掘出の件に関する指示(写) (文政7か)(1824)4月19日 算用場→富田外記	続紙 15.6×105.4 1
① 223	立山地獄谷硫黄掘出主附を下青出村平四郎に申付の件連絡状 申(文政7)(1824)4月27日 関屋平馬→岩峯寺村目代中	切紙 15.5×47.0 1
① 251	御高并柴山等書上帳 天保8酉(1837)9月 岩峯寺目代→金山彦左衛門	袋綴 22.3×163.5 (続紙状貼付) 5枚
② 1 2 1 8	御冥加銀御上納帳、岩峯寺村目代 天保6未(1835)2月	袋綴 24×17.3 4枚
② 1 2 1 9	高方書上一巻 天保8年(1837) 仕様書	袋綴 24×17.7 13枚
② 1 2 2 0	諸借財質物暨御高方等御仕法等写留帳 天保8丁酉(1837) 岩峯寺目代、岩峯玉蔵坊	袋綴2冊 24.5×17.5 12・7枚
② 1 2 2 1	極難人御粥願帳、岩峯寺目代 天保10己亥(1839)3月	袋綴 24.1×17.7 7枚
② 1 2 2 2	高附無高等之芝山歩数中勘書上帳(控) 天保10亥(1839)6月 岩峯寺目代→新堀村兵三郎	袋綴 24.2×17.4 8枚
③ 1 2 1 6	茂左衛門へ売渡申地所書上(仮題) 天保9戌(1838)6月 立山別当岩峯寺衆徒中→御改作奉行所	袋綴 24.2×17.5 11枚
③ 1 2 1 7	納返上米皆済状 天保11年(1840)12月10日 金山十次郎・三日市村嘉一郎・神田村甚助→新川郡岩峯寺	一紙 24.2×32.6 1
③ 1 2 1 8	返上米井下人足懸御用捨願申上状 丑(天保12)(1841)6月 岩峯寺目代→新堀村兵三郎殿	続紙 24×249 1
③ 1 2 1 9	井下人足懸御用捨願上状(控) 丑(天保12)(1841)6月 岩峯寺目代→神保助三郎殿・新堀村兵三郎殿	続紙2通 23.8×96 2

㊟ 1 2 2 0	返上米指除奉願状(控) 丑(天保12)(1841)6月 岩嶽寺目代→神保助三郎・新堀村兵三郎	続紙 24×174 1
㊟ 1 2 2 1	返上米之儀指除願上状(控) 丑(天保12)(1841)6月 岩嶽寺目代→神保助三郎・新堀村兵三郎	続紙 24×133 1
㊟ 1 2 2 2	納返上米皆済状 天保12年(1841)11月28日 宝田宗兵衛・石佛村七三郎・安田村道三→新川郡岩嶽寺目代中	一紙 25×38 1
㊟ 273	秋ヶ嶋用水人足高懸免除願書(控) 丑(天保12)(1841)6月 岩嶽寺目代→神保助三郎	続紙 23.8×116.3 1
㊟ 274	火除水御供水等用水より分取認可状 丑(天保12)(1841)6月 永原求馬・篠原織部→立山岩嶽寺別当中	続紙 17.5×50.8 (包紙あり) 1
㊟ 1 2 2 3	納返上米皆済状 天保13年(1842)12月5日 杉木弥助・東長江村彦右衛門・高柳村弥三郎→岩嶽寺門前人々中	一紙 24×35.5 1
㊟ 1 2 2 4	納返上米皆済状 天保14年(1843)11月25日 金山伊三右衛門・下砂子坂太左衛門・町新庄村庄三衛門→岩嶽寺村	一紙 26×37.3 1
㊟ 1 2 2 5	納返上米皆済状 天保15年(1844)11月22日 宝田宗兵衛・神田村豊次・滑川町五郎兵衛	一紙 25.7×39 1
㊟ 1 2 2 6	納返上米皆済状 弘化2年(1845)12月8日 杉木弥助・新堀村兵三郎・滑川町九三郎→岩嶽寺	一紙 26×39.2 1
㊟ 1 2 2 7	納返上米皆済状 弘化3年(1846)12月16日 宝田宗兵衛・大村平兵衛・西水橋吉郎	一紙 25.7×35.7 1
㊟ 1 2 2 3	口上書付を以御願申上候 巳、弘化2年か(1845)5月 借上銀、上納の件、岩嶽寺目代発、新堀村兵三郎宛	続紙 24×96 24×75 2枚
㊟ 1 2 2 4	両寺江申渡覚書 巳、弘化2年か(1845)12月8日 借上銀返済壹軒に付七匁取立指示	続紙 23.7×63.7 1
㊟ 1 2 2 5	納御年貢米之事、岩嶽寺村 弘化2年(1845) 皆済状	一紙 26×46.5 1
㊟ 1 2 2 6	覚、所御蔵米 弘化4年(1847)11月8日 岩嶽寺衆徒→新堀村兵三郎	一紙 23.8×28.8 1
㊟ 1 2 2 8	納返上米皆済状 弘化4年(1847)11月29日 神保助三郎・小林村宗七郎・三日市村丈左衛門	一紙 26×38.8 1
㊟ 1 2 2 7	覚、御貸渡銀今年返上分 嘉永元年(1848)12月20日 皆済状	一紙 24×30 24×29 2枚
㊟ 1 2 2 8	覚、所御蔵米預り状 嘉永元年(1848)11月17日 岩嶽寺目代→新堀村兵三郎	一紙 24×29.5 1
㊟ 1 2 2 9	納返上米之事 嘉永元年(1848)11月28日 皆済状	一紙 26×28 1

④ 1 2 3 0	納年貢米之事、岩峯寺村 嘉永元年(1848)12月 皆済状	一紙 25.8×36.8 1
④ 275	内輪江狩時節之鐘申遣状 丑 6月 新堀村兵三郎→岩峯寺目代中	続紙 15.7×28.3 1
④ 305	内輪江狩時節之鐘申遣状 申(嘉永元)(1848)7月7日 東長江村彦右衛門→岩峯寺目代	切紙 15.3×30.5 1
④ 306	内輪江狩時節之鐘申遣状 申(嘉永元)(1848)7月7日 東長江村彦右衛門→岩峯寺目代	続紙 15.1×27.4 1
④ 307	内輪江狩申付紙面故障とて訊状 申(嘉永元)(1848)7月10日 東長江村彦右衛門→岩峯寺目代	続紙 15.2×28.1他 3枚
④ 308	減水ニ付十村方等巻 嘉永元 戊申(1848) 目代常住坊当り	袋綴 23.8×17.1 8枚
⑤ 1 2 2 9	神領続川原草附新開ハ会得難ノ答申上状(下書) 嘉永2年(1849)春2月 目代→新堀村兵三郎殿	一紙 24×33.7 1
⑤ 1 2 3 0	川原草附新開承知達状(下書) (嘉永2か)(1849)	一紙 24×33.7 1
⑤ 1 2 3 1	口上、上滝村領小の陣新畑開の義御座無様申入(下書) 不詳	一紙 24×34.2 1
⑤ 1 2 3 2	納返上米皆済状 嘉永2年(1849)12月20日 結城豊次等3名→岩峯寺	一紙 24.8×37 1
④ 1 2 3 1	納御年貢米之事、岩峯寺村 嘉永2年(1849)11、12月 皆済状	一紙 26×45他 3枚
④ 1 2 3 2	覚、御貸渡銀今年返上分 嘉永2年(1849)12月20日 皆済状	一紙 24.4×30.8 24.2×31.6 2枚
④ 1 2 3 3	覚、御貸渡銀今年返上分 嘉永3年(1850)12月20日 皆済状	一紙 24.0×31.5 24.0×28.5 2枚
⑤ 1 2 3 3	納返上米皆済状 嘉永3年(1850)12月20日 宝田宗兵衛等3名→岩峯寺村目代中	一紙 24.3×36.6 1
⑤ 1 2 3 4	納返上米皆済状 嘉永4年(1851)12月4日 伊藤源次等3名→新川郡岩峯寺村目代	一紙 26×38.5 1
⑤ 1 2 3 5	覚、今年分返上銀上申状及請取状(丑より) 嘉永4年(1851)12月 岩峯寺衆徒中↔桐山章之助等4名	各一紙 24×32.5 4通
④ 1 2 3 4	覚、御貸渡銀、今年返上分の件 嘉永4年(1851)12月20日 皆済状	一紙 24.2×30他 3枚
④ 1 2 3 5	覚、貸渡銀年賦返上上申書并受取状 嘉永5年(1852)12月	一紙 24×36他 8枚

⑤ 1 2 3 6	納返上米皆済状 嘉永5年(1852)12月20日 石佛村七郎兵衛等3名→新川郡岩峯寺	一紙 26.5×39.5 1
⑤ 1 2 3 7	納返上米皆済状 嘉永6年(1853)11月22日 結城豊次等3名→新川郡岩峯寺目代	一紙 24.3×36.3 1
⑥ 1 2 3 6	御高本納之外返上米御用捨願上状 嘉永6 丑(1853)7月 岩峯寺目代→新堀村兵三郎	続紙 24×92 1
⑥ 1 2 3 7	納御年貢米之事、岩峯寺村百姓中 嘉永6年(1853)12月 皆済状	続紙 25.5×191 1
⑤ 1 2 3 8	茂左衛門へ売渡地の新開検地申分無御座の書付 嘉永7年(1854) 岩峯寺目代→結城豊次殿等3名	続綴 24×52 1
⑤ 1 2 3 9	納返上米皆済状 嘉永7年(1854)12月16日 岩城七郎兵衛等3名→新川郡岩峯寺目代	一紙 24.3×35.5 1
⑤ 1 2 4 0	覚、今年分返上銀請取状(子より) 安政元年(1854)12月20日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 24×32.3 1
⑤ 1 2 4 1	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 安政元年(1854)12月20日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 24×32.3 1
⑤ 1 2 4 2	覚、今年分返上銀請取状(亥より) 安政元年(1854)12月20日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 24×32.5 1
⑧ 328	岩峯寺領境に関する請書(控) 嘉永7年(1854)9月 岩峯寺目代→結城豊次等十村3名	続紙 23.7×73.3 1
⑧ 333	寺地・宮地・抜地等の混雑に付僉義願書 卯(安政2)(1825)9月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社奉行所	続紙 23.6×98.7 1
⑧ 334	覚、天保五年貸渡五拾年賦銀今年分請取書 安政2年(1855)12月20日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 23.9×30.2 1
⑧ 335	覚、天保九年貸渡三拾年賦銀今年分請取書 安政2年(1855)12月20日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 23.9×30.4 1
⑧ 336	覚、天保四年延佛米代銀拾年賦今年分請取書 安政2年(1855)12月20日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺衆徒中	一紙 23.9×30.0 1
⑧ 337	覚、年賦返上銀高の目録(上ル控) 卯 12月22日 立山別当岩峯寺	一紙 23.7×35.4 1
⑥ 1 2 3 8	覚、御蔵入不足米之證文 安政2 卯(1855)11月21日 岩峯寺衆徒発、新堀村手代宛	一紙 24.1×34.1 1
⑥ 1 2 3 9	納御年貢米之事、岩峯寺村 安政2年(1855)12月 皆済状	続紙 24.5×78 1
⑥ 1 2 4 0	納御年貢米之事、岩峯寺村 安政3年(1856)11月 皆済状	続紙 24.5×79 1

㊦ 1 2 4 1	覚、御貸渡銀 今年返上分の件 安政3年(1856)12月18日 皆済状	一紙 24.2×35.5他 3枚
㊦ 1 2 4 3	覚、今年分返上銀請取状(子より) 安政4年(1857)12月16日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺	一紙 24×35.3 1
㊦ 1 2 4 4	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 安政4年(1857)12月16日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺	一紙 24×35 1
㊦ 1 2 4 5	覚、今年分返上銀請取状(亥より) 安政4年(1857)12月16日 桐山章之助等4名→立山別当岩峯寺	一紙 24×35.3 1
㊦ 1 2 4 6	覚、御貸米当年返上分蔵納済上申状 午(安政5)(1858)正月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所→御算用場	続紙 23.8×41.8 1
㊦ 1 2 4 7	覚、今年分返上銀請取状(子より) 安政5年(1858)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24×35.7 1
㊦ 1 2 4 8	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 安政5年(1858)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24×36 1
㊦ 1 2 4 9	覚、今年分返上銀請取状(亥より) 安政5年(1858)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.2×36 1
㊦ 346	岩峯寺衆徒中十一ヶ坊当年分年賦銀御用捨申渡状 6月17日 岡本三郎太夫・岩原五右衛門→岩峯寺	続紙 14.9×37.5 1
㊦ 347	岩峯寺衆徒中十一ヶ坊当年年賦銀御用捨申渡状 6月12日 高橋信次郎・岩原五右衛門→立山岩峯寺	続紙 14.9×33.4 1
㊦ 348	願書調替再提出指示状 3月8日 岡本三郎太夫・岩原五右衛門→立山岩峯寺	切紙 16.4×20.8 1
㊦ 349	別紙覚書の請書提出指示状 9月6日 岡本三郎太夫・藤沢三九郎→岩峯寺衆徒中	切紙 15.3×19.0 1
㊦ 352	門前御救米の代銀請取指示状 10月5日 榊原三郎兵衛・高橋信次郎→岩峯寺	切紙 15.6×24.6 1
㊦ 353	以談の義につき出頭指示状 9月12日 高橋信次郎・岡本三郎左衛門	続紙 14.9×39.0 1
㊦ 1 2 0 3	御収納米調理帳(山内密蔵坊、他) 安政4年(1857)～6年	長帳4冊 37×12 計25枚
㊦ 366	衆徒并前地震等にて難渋御救米等の間届の状況 (安政5)(1858)	切紙 15.7×33.5 1
㊦ 245	覚、岩峯寺九ヶ坊水損御貸米切手請取書 午(安政5)(1858)7月28日 前田監物→御算用場	切紙 16.0×21.0 1
㊦ 1 2 4 2	覚、御蔵米預り状 安政5 午(1858)12月12日 岩峯寺村衆徒→新堀村兵三郎	一紙 24.2×35.6 1

㊦ 1 2 4 3	納返上米之事、岩峯寺衆徒中 安政6年(1859)12月28日 地震難波御貸米等	一紙 23.7×60.0 23.7×33.5 2枚
㊧ 1 2 0 1	衆徒一統大困窮ニ付草高売払伺(仮題、控) 未(安政6)(1859) 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 24.2×70.8 1
㊨ 1 2 5 0	覚、今年分返上銀請取状(子より) 安政6年(1859)12月16日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.2×35.5 1
㊩ 1 2 5 1	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 安政6年(1859)12月16日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24×36 1
㊪ 1 2 5 2	覚、今年分返上銀請取状(亥より) 安政6年(1859)12月16日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.3×36 1
㊫ 1 2 5 3	覚、今年分返上銀請取状(子より) 萬延元年(1860)12月20日 諸方御土蔵→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24×34.5 1
㊬ 1 2 5 4	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 萬延元年(1860)12月20日 諸方御土蔵→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24×35.5 1
㊭ 1 2 5 5	覚、今年分返上銀請取状(亥より) 萬延元年(1860)12月20日 諸方御土蔵→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24×34.2 1
㊮ 1 2 5 6	納返上米皆済状、衆徒等 文久元年(1861)12月8日 結城甚助等3名→岩峯寺衆徒中	一紙 24×36.2 1
㊯ 1 2 5 7	納返上米皆済状、覚乗坊等 文久元年(1861)12月8日 結城甚助等3名→岩峯寺衆徒中	一紙 24×35.7 1
㊰ 1 2 5 8	納返上米皆済状、衆徒并門前 文久元年(1861)12月8日 結城甚助等3名→岩峯寺衆徒中	一紙 24×36 1
㊱ 1 2 0 2	覚(玉蔵坊より中道坊へ歳末清算状) 申	切紙 15.5×26.5 1
㊲ 1 2 5 9	覚、今年分返上銀請取状(子より) 文久元年(1861)12月22日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.2×35.7 1
㊳ 1 2 6 0	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 文久元年(1861)12月22日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.3×35.3 1
㊴ 384	社地等見分取極のための登山指留につき連絡状 (文久元)(1861)4・5月 算用場→郡奉行→才許十村→両峯目代	続紙 15.0×58.8 1
㊵ 394	農業出情等申渡状并請書 文久2年(1862)閏8月 改作奉行→村々何々	長帳 14.5×40.0 袋綴 24.0×17.7 計8枚
㊶ 396	納返上米皆済状 文久2年(1862)12月 岩城九郎兵衛等3名→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24.0×35.7 1
㊷ 397	納返上米皆済状 文久2年(1862)12月 岩城九郎兵衛等3名→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24.0×35.4 1

前 398	納返上米皆済状 文久2年(1862)12月 岩城九郎兵衛等3名→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24.0×36.1 1
多 12 61	覚、今年分返上銀請取状(子より) 文久2年(1862)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.2×35.2 1
多 12 62	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 文久2年(1862)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.3×33.6 1
多 12 63	覚、今年分返上銀請取状(子より) 文久3年(1863)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24×32 1
多 12 64	覚、今年分返上銀請取状(丑より) 文久3年(1863)12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 23.5×33.6 1
延 12 44	納返上米之事、立山岩峯寺衆徒中 安政3年(1863)12月 皆済状	一紙 24.5×35.5他 3枚
延 12 45	納返上米之事、岩峯寺衆徒中 元治元年(1864)12月8日 皆済状	一紙 26.5×39他 4枚
前 452	宮路村徳三郎家屋取払約定書 文久2 戌(1862)7月 宮路村徳三郎→岩峯寺役寮中 浅右衛門奥書	一紙 24.0×36.0 (包紙あり) 1
前 453	釜ヶ淵用水役人等歎願書 亥(文久3)(1863)3月 釜ヶ淵当分井肝煎等→結城甚助等	続紙 23.4×76.3 1
前 454	釜ヶ淵用水新井掘立書の訂正状 文久3年 亥(1863)8月 沢新村久蔵・米沢村太兵衛→岩峯寺衆徒中	一紙 23.6×35.7 1
前 455	覚、減銀示談申入状 亥 9月 釜ヶ淵江下村々役人共→岩峯寺	一紙 24.0×35.2 1
前 456	釜ヶ淵用水江筋手入方ニ付燈明料指上状 文久3年 亥(1863)9月28日 釜ヶ淵用水井肝煎7名→岩峯寺衆徒中	一紙 23.5×34.4 1
前 457	覚、新井掘立ニ付燈明料指上約定書 亥 9月 釜ヶ淵用水井肝煎3名	一紙 24.0×29.7 1
前 458	覚、伊豆林井燈明料請取書(控) 子(文久4)(1864)6月14日 岩峯寺覚乗坊→米道村肝煎	一紙 24.0×36.0 1
前 459	伊豆林井燈明料配当覚書 衆徒中	折紙 23.9×39.5 1
前 399	無動坊方取しらへの件につき指示状 2月14日 岩原五右衛門・高橋信次郎→立山岩峯寺衆徒中	一紙 15.9×52.9 1
前 378	領国寺社類焼御貸米返上切手の調査の件申渡状 (元治元か)(1864)9月8日 算用場→前田図書	切紙 15.8×30.2 1
前 400	収納米懸番役人不出頭につき指示状 子(元治元か)(1864)12月6日 岩瀬御蔵・渡辺藤太夫→岩峯寺目代中	切紙 15.3×27.7 (包紙あり) 1

㊟ 1 2 6 5	覚、今年分返上銀請取状（子より） 元治元年（1864）12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.3×35.8 1
㊟ 1 2 6 6	覚、今年分返上銀請取状（丑より） 元治元年（1864）12月18日 諸方御土蔵→立山岩峯寺	一紙 24.3×36.6 1
㊟ 1 2 6 7	納返上米皆済状 慶應元年（1865）12月10日 岩城平右衛門等3名→立山岩峯寺衆徒中	一紙 23.8×36.3 1
㊟ 1 2 6 8	納返上米皆済状 慶應元年（1865）12月10日 岩城平右衛門等3名→立山岩峯寺衆徒中	一紙 24.0×35.8 1
㊟ 1 2 0 4	大目付え（京都大阪間船改所変更触状写） 慶應元年か（1865） 寺社奉行中川式部より	一紙 24.2×33.7 1
㊟ 1 2 6 9	納返上米皆済状 慶應元年（1865）12月10日 岩城平右衛門等3名→立山岩峯寺覚乗坊等	一紙 23.8×36.2 1
㊟ 1 2 7 0	納返上米皆済状 慶應元年（1865）12月10日 岩城平右衛門等3名→立山岩峯寺玉林坊	一紙 24.0×35.8 1
㊟ 1 2 4 6	所蔵納米借人三組村々より故障申出始終巻 慶應元 丑（1865）	袋綴 24.5×18 2 1枚
㊟ 1 2 4 7	岩峯寺御収納米三組村々借受有之の件 丑、慶應元年（1865）1～10月 高野組手代、十村↔岩峯寺目代	切紙等 15×36他 1 0通
㊟ 1 2 4 8	覚、所御蔵米預り状 慶應元年（1865）11月26日 岩峯寺目代↔新堀村兵三郎	一紙 24.2×35.5 2枚
㊟ 460	取極申永代請状之事新井掘立受地の件 慶應元年（1865） 釜ヶ淵江肝煎7名→岩峯寺目代衆中	一紙 23.7×36.0 1
㊟ 461	永代釜ヶ淵用水と定書 慶應2年 寅（1866）4月 釜ヶ淵用水肝煎等11名→岩峯寺衆徒中	続紙 24.0×82.4 1
㊟ 462	永代釜ヶ淵用水と定書之事 慶應2年 寅（1866）4月 →岩峯寺	袋綴 24.7×17.5 5枚
㊟ 403	本免立帰御用捨歎願書 寅（慶應2）（1866）3月 岩峯寺目代→新堀村兵三郎	続紙 24.4×155.5 1
㊟ 404	本免立帰御用捨歎願書の返却連絡状 3月23日 新堀村兵三郎→岩峯寺目代	切紙 15.4×21.9 1
㊟ 1 2 7 1	御返上残米年賦延長願状 寅（慶應2）（1866）3月 立山別当岩峯寺衆徒中→寺社御奉行所	続紙 23.8×121.5 1
㊟ 1 2 7 2	横江村上之山新開指構之無御達状 10月13日 岩峯寺目代	一紙 24×34.3 1
㊟ 1 2 7 3	開作関係の上申状（仮題）部分 未詳	一紙（前後を欠く） 23.2×34.2 1

3. 近代、社寺・神職関係

延 25 1	三国伝来聖観世音菩薩記 明治2年(1869)3月 延命院釈覚道	野紙 26×37.4 2枚
前 475	寺号廃止その他定書の事 己巳(明治2)(1869)5月 民政寮→立山西社人・東社人	続紙 15.9×231.9 1
前 476	社寺各々相改についての申渡状 (明治2)(1869)5月 民政寮	続紙 15.8×219.2 1
前 421	改正御寄進米申渡状 己巳(明治2)(1869)9月 民政寮管事立山雄山神社	続紙 25.4×74.6 1
前 422	御一新給米申渡状 己巳(明治2)(1869)9月 立山西社人式拾四人	続紙 25.5×86.7 1
前 外7	立山雄山神社神供米並惣社人被下米発給通知状 己(明治2)(1869)9月 民政寮発→西神職中	一紙 26.3×72.8 1
前 477	大参事衆申談事項申渡状 己(明治2)(1869)11月 社祠方→立山惣神職	続紙 19.7×74.6 1
多 21 01	御札布施等両寺振分奉願書物、不要之分 己(明治2)(1869)11月	続紙 24.2×59 1
延 21 1	證書并由縁書控、立山西神職 明治3年(1870)6月	袋綴 24.3×18 13枚
延 21 108	神主等へ上納金被仰渡ニ付歎願、他 明治2年己(1869) 明治2年御社領地収納帳を含む	袋綴 25×17
前 479	止雨祈願祝詞 明治3年(1870)9月26日 金沢藩知事	一紙 42.3×105.3 1
前 外8	式目 明治3年か(1870)9月 高倉従五位奏祝詞	折紙 45.5×74.2 1
前 外9	奉開戸詞 明治3年か(1870)	一紙 45.5×37.2 1
前 外10	奉開戸詞 明治3年か(1870)	一紙 45.5×37.2 1
延 23 1	元旦等諸祭祝詞 明治3年(1870) 射水郡泉村天満宮神職大森前従五位定久勤撰、含明治2年西神職神祭式	袋綴 24.5×18 50枚
延 23 2	雄山神社祭奠祝詞部 明治3年頃か(1870) 立山西神職佐伯延津見用	袋綴 24×17.8 59枚
延 23 3	祝詞正訓辨解聞取書、佐伯敬治	袋綴 24.4×18 39枚

④ 2 3 4	祝詞解説（下書） 7種一括	袋綴 24×18他 8点
④ 2 3 5	葬事略儀、清葬家式 明治3年頃か（1870） 佐伯延津見	袋綴 24×18 16枚
④ 478	立山社記	二文軸装一卷（但剥離） 30.0×127.5 31.3×53.5
④ 2 1 5 9	立山社記 明治 縁起写を含む	罫紙袋綴 24×18 35枚
④ 2 1 2	越中国新川郡立山雄山神社峯麓書上帳 明治4 辛未（1871）2月 東西神職より金沢藩庁へ上ル	袋綴 24.3×18 18枚
④ 2 3 1 5	諸神祭祝詞 明治 佐伯延津見玄真	袋綴 24×18他 21+5枚
④ 2 3 1 6	臨時祭祝詞	袋綴 24×17.7 11枚
④ 2 3 1 8	歴朝詔詞全	袋綴 24.2×15.8 98枚
④ 2 3 1 9	神道要領 宮地巖夫著	袋綴 24.2×18.4 40枚
④ 2 3 2 0	神教綱領 神宮祭主近衛忠房撰	袋綴2冊 24.2×17.8 9・7枚
④ 2 3 2 1	神教要旨	袋綴 24.3×18 5枚
④ 2 3 2 2	大麻頒賦俗弁	印刷物 22.6×31.0 2枚
④ 2 3 2 3	六根清浄太祓	袋綴 23.8×17.9 11枚
④ 2 3 2 4	神字一覧表 平延胤誌	一紙 36.4×49.5 1
④ 2 3 2 5	言霊旅の暁、越中五十嵐篤好稿 文政年間の著	袋綴 24.6×18.2 5枚
④ 2 3 2 6	阿比物録	袋綴 24.3×18.1 81枚
④ 2 3 2 7	諸説筆記留 敬神愛国、天神造比、顕幽分界、租税賦役等	各袋綴 19冊
④ 2 3 2 8	古道訓蒙頌	袋綴 24.2×17.8 10枚

㊦ 2 2 1	教部省試験につき招集状、佐伯敬治 壬申、明治5年(1872)10月18日	切紙 15.4×29他 6枚
㊦ 2 1 0 1	遥拝所等鍵御渡願(控) 明治5年か(1872) 岩峯寺 芦峯寺 旧神職	罫紙袋綴 25.4×17.5 3枚綴
㊦ 2 1 0 2	献金之儀奉伺(控) 明治6年か(1873)	罫紙袋綴 24.5×17.8 2枚綴
㊦ 2 1 0 3	職務之儀ニ付御願(下書、控) 明治6年(1873) 西東旧神職名→権令 山田秀典	罫紙袋綴 24×17.5 2通、計9枚
㊦ 2 1 0 4	職務之儀ニ付再願(控) 明治6年(1873) 岩峯寺 芦峯寺 旧神職	罫紙袋綴 24.5×18 3枚綴
㊦ 2 3 6	神教要旨略解全 明治6年(1873)11月 近衛忠房、千家尊福撰、佐伯重治写	袋綴 24×17.8 13枚
㊦ 2 3 7	神徳略述頌 明治6年(1873)7月 佐伯利喜磨写	袋綴 24×18 18枚
㊦ 2 3 8	新潟中教神殿祀典并開講式資料他 明治7年(1874)9月	袋綴、印刷物 23.2×17 41枚
㊦ 2 3 9	三大考 明治7年(1874)11月 佐伯治重写	袋綴 23.2×17.5 27枚
㊦ 2 3 1 0	善悪報応論全 明治7年(1874)1月 佐伯敬治、治重写	袋綴 24×17.8 13枚
㊦ 2 1 3	教部省ヨリ御達ニ付神社名牒纂定書上ノ控 明治7年(1874)9月 新川県第六大区小五区、祠官大内弘麻呂	袋綴 24×18 4枚
㊦ 2 1 4	雄山神社祀掌拜命、請書等 明治7年(1874)	罫紙 24.5×35.5他 4枚
㊦ 2 1 5	県社雄山神社祭典入費等届ノ控 明治7年(1874)7月	袋綴 24.6×17.5 5枚
㊦ 2 1 0 5	御材木払願、聞届書(各控) 明治7年(1874) 室堂関係	袋綴 24.5×17.5 2枚
㊦ 2 1 0 6	勸財儀ニ付御届、勸財(各控) 明治7年(1874) 芦峯寺村連署	罫紙袋綴 24×17.5 各2枚綴
㊦ 2 1 0 7	雄山神社拜参人休泊之義ニ付願(控) 明治8年(1875) 芦・岩惣代	罫紙 24×35 1
㊦ 2 1 0 8	立山室所等拝借地之義ニ付願(控) 明治8年(1875) 芦・岩惣代 正副戸長	罫紙 24.5×35.5 1
㊦ 2 1 0 9	立山室所建物御払下願(下書) 明治8年か(1875)	罫紙 24×35 1

② 2 2 2	書状、社務関連 明治8年頃か(1875)5月12日 佐伯敬治、多二間←金山半治	切紙 16.4×49 16.4×39 2枚
② 2 1 6	県社雄山神社諸費書上 明治8、9年(1875~1876) 祭典費、祠官掌給料、修繕費等	袋綴 24.3×18 5枚
② 2 1 7	立山雄山神社暨末社書上帳 明治9年(1876)11月	袋綴 25×18 38枚
② 2 1 8	神祭式、諸神祭通式、一社中 明治	袋綴 24.2×18. 13枚
③ 2 1 1 0	立山雄山神社道路宮繕之義ニ付願(下書、控) 雄山神社参詣人通路宮繕人足賃取調書(控) 明治9年(1876) 芦・岩代表願人→石川県権令 桐山純孝	罫紙袋綴 24×17.5 計6枚
③ 2 1 1 1	出開帳中定書(書式) 明治9年(1876)	一紙 24×35 1
③ 2 1 1 2	出開扉宿寺請記 明治9年(1876) 道入寺宛、能登方面4か寺	半紙等綴 4枚
③ 2 1 1 3	立山字桑ヶ谷外五ヶ所御茶屋菰小屋場願(下書) 明治10年(1877) 芦・岩惣代	罫紙袋綴 23.7×17.5 2枚綴
③ 2 1 1 4	雄山神社奉仕之儀ニ付願、祠官掌御差替願(下書) 明治10年(1877)	各罫紙 24×35 計7枚
③ 2 1 1 5	祠官掌差替願関連書信類 明治10年(1877)	罫紙切紙等 6通
③ 2 1 1 6	祠官掌差替之儀ニ付再願(下書、控) 明治10年(1877) 岩峯寺芦峯寺惣代 他	袋綴 24×17.5 3通、計10枚
③ 2 1 1 7	石川県指示書(写)、尋問答書(控) 明治10年(1877)	一紙及罫紙 24×35.5 各1枚
③ 2 1 1 8	派出之儀ニ付御願(控) 明治10年(1877) 県下配札巡回願 雄山神社祠官掌祠官→石川県権令	罫紙 24×35.5 1枚
③ 2 1 1 9	官地拝借願(仮題、下書) 明治10年(1877) 岩峯寺芦峯寺惣代→石川県権令	罫紙 24×31 1枚
② 2 2 3	石川県第二大区村社受持記并祭典例日記 明治10年(1877) 社掌佐伯敬治	横半帳2冊 18.4×12.0 12枚 18.2×12.4 19枚
② 2 2 4	佐伯敬治、補権少講義関係 明治11年(1878)	罫紙綴 28×19.5他 5+3枚
② 2 1 9	県社雄山神社明細表 明治12年(1879)10月 石川県達ニ付上申ノ控	罫紙袋綴 27×20.5 48枚

④ 2 1 1 0	雄山神社前立社檀一卷 明治12年(1879)12月4日 十二月四日御達物、岩峯寺村旧神官二十四名	袋綴 24.3×17.7 14枚
④ 2 1 1 1	社頭修繕創竣之儀御届他 明治13年(1880)10月 氏子惣代佐伯数馬他兪、上新川郡長稻垣義方宛	罫紙袋綴4綴 24×17.7他 計17枚
④ 2 1 1 2	本社、拝殿屋根瓦葺有志寄付帳 明治13年(1880)11月 立山前立社檀	袋綴2冊横半帳1冊 24×17.5他 計15枚
④ 2 1 1 3	立山講社諸類綴 明治13年(1880) 講社結収之義ニ付願、義定決約書、用度綴他、明治17年記録迄	袋綴5綴 25×18他 計60枚
④ 2 1 1 4	越中立山講社仮規約 明治13年(1880)5月	印刷綴2綴 18.5×13.2 11枚 20.6×14.8 16枚
④ 2 2 5	無格社擔当之儀ニ付伺他 明治13年(1880)1月8日	罫紙袋綴 24.4×18 7枚
④ 2 2 6	事比羅社社格引直願 明治14年(1881)	罫紙他 24.4×18.2他 2枚
④ 2 1 1 5	立山前立社檀瓦屋根ニ就萬般手鑑 明治14年(1881)3月 祠掌佐伯敬治	横半帳 12×18 42枚
④ 2 1 1 6	立山講社決収許書、社員佐伯敬治 明治14年(1881)6月21日 射水郡大門新町等	切紙 22.7×9.3 1
④ 2 1 1 7	書状、立山講社關係 明治14年(1881)12月9日 中講義柁野安輝→岩倉事務所長、權少講義佐伯敬治	切紙封筒 15.8×38.8他 2枚
④ 2 1 1 8	神社關係県達等の目録一覽 明治14年(1881)	一紙2枚綴 22×17.8 2枚
④ 2 1 1 9	神官不帰依問題ニ関スル文書綴 明治14年(1881) 佐伯敬治控	袋綴 24.5×18.5 52枚
㊦ 2 1 0 3	越中国立山略御傳記(写) 明治 立山社務所	一紙(木版刷) 28×40 2枚
④ 2 2 7	神官氏子予約書 明治15年(1882)11月	罫紙 26.3×18.7 2枚
④ 2 2 8	祭事關係書状 明治15年(1882)11月20日 金山半治→佐伯敬治	一紙 16.7×43.5 1
④ 2 1 2 0	神道事務諸控 明治15年(1882)	罫紙他 18.5×25他 6+1+4枚
④ 2 1 2 1	手帳、立山講會計控か 明治15年(1882) 敬治用	横半帳 12×18 10枚
④ 2 1 2 2	立山講事務所手控書類 明治15~18年(1882~1885)	長帳、袋綴等3冊 23.9×17他 計17枚

② 2 1 2 3	立山講社関係 明治15~20年(1882~)	罫紙綴他 25×18他 7点
② 2 1 2 4	神社奉務方示達 明治16年(1883)5月 祠官大内弘麻呂兎、祠掌衆中宛	罫紙 24.2×35.8 1
② 2 1 2 5	前立社壇拝殿鉄板葺入費等之記録 明治16年(1883)11月 12月8日清算簿	長帳 12.2×36.5 計13枚
② 2 1 2 6	中教正島地黙雷登岳記 明治16年(1883)8月6日	一紙 23.8×35.6 1
② 2 1 2 7	書信 明治16年(1883) 大内弘麻呂↔佐伯敬治	一紙5通 24×35.5他 5
③ 2 1 2 0	櫛原神社祠官書信 明治16年(1883)	罫紙 24×35.5 1
② 2 1 2 8	奉幣使登山ニ付買物控 明治17年頃(1884)	長帳 13×36 15枚
② 2 1 2 9	雄山神社令幣下賜出費日記 明治17年(1884)2月 祠掌佐伯敬治	横半帳 18×12 10枚
② 2 1 3 0	雑事録、各年例祭奉幣使等の記録 明治17年(1884)	罫紙袋綴 24×18 46枚
② 2 1 3 1	幣帛料之内拂方詳細留 明治18年(1885)7月27日 祠官代理佐伯敬治	長帳 35.2×12 2枚
② 2 1 3 2	官例祭日御届 明治18年(1885)7月 雄山神社祠官大内弘麻呂他兎、富山県令国重正文代理宛	罫紙袋綴 24×17.5 2枚
② 2 1 3 3	書状、竹中邦香立山登山につき依頼状 明治18年(1885)8月9日	一紙、封筒 15.3×60 1
② 2 2 9	佐伯敬治、教導職権中講義拜命関係 明治19年(1886)	罫紙他 24.2×36他 計7枚
② 2 1 3 4	立山中語人夫同盟規約 明治20年(1887) 県社雄山神社社務所	罫紙袋綴 24×18 2枚
② 2 1 3 5	雄山神社例祭県長官等登山ニ付連絡状 明治20年(1887)7月	罫紙等 23.5×18他 3枚
② 2 1 3 6	雄山神社昇格関連負債金ニ付約定証 明治20年頃(1887)11月	罫紙綴 24×18. 4枚
② 2 1 3 7	県社雄山神社へ御下賜金ニ付諸控 明治20年(1887)	袋綴 24×18 16枚
② 2 1 3 8	例祭執行幣帛料納入書 明治20・21年(1887・1888)7月 富山県知事国重正文	各罫紙 27.6×39 2枚

④ 2 1 3 9	書信、立山講社関連 明治21年(1888)1~4月 萬栄講社発起世話人片山与左エ門発	罫紙折紙等4通 22.4×29.5他 4
④ 2 1 4 0	書状、社務関連 明治22年(1889)8月5日 旦尾嘉肥→佐伯敬治	罫紙、封筒 24.0×35.4 2枚
④ 2 1 4 1	拝参人名簿、社務所 明治22年(1889)7月	袋綴 24×18 56枚
④ 2 1 4 2	立山前立社壇寄附帳 明治中頃(1890) ※氏子惣代佐伯数馬	袋綴 24.3×18 17枚
④ 2 2 1 0	受持村社ヨリ収入 明治23・27年(1890~1894)	横半帳2冊 12.3×18.0 12枚 18.2×12.1 10枚
④ 2 2 1 1	雄山神社社掌佐伯敬治履歴書 明治23~32年(1890~1899) 履歴書6点	罫紙他 28.4×20.4他 計16枚
④ 2 3 3 0	肯構泉達録 明治23年(1890) 10/9 富山日報附録並筆録	袋綴2冊 22.3×15.4 4枚 24.3×18.0 64枚
④ 2 1 4 3	参拝人数帳、雄山神社社務所 明治24年(1891)7月	袋綴 23.8×17.8 38枚
④ 2 2 1 2	佐伯敬治生涯録(仮題) 明治25年(1892)1月 明治36年まで追録	袋綴 24.5×18 19枚
④ 2 1 4 4	前立社壇納金借用証 明治27年(1894)	罫紙等袋綴2冊 23.5×17.8 2・3枚
④ 2 1 4 5	雄山神社社務所所在届ノ件 明治27年(1894)7月 雄山神社社司↔立山村役場	一紙及罫紙 24.4×36.0 24.0×17.6 2枚
④ 2 1 4 6	雄山神社書類綴 明治28年(1895)9月 明治34年7月迄	袋綴 29×21 57枚
④ 2 1 4 7	前立社壇屋根修理費借用書 明治28年(1895)8月	罫紙 24×35.8 2枚
④ 2 1 4 8	御寄附物等書類写 明治28年(1895)7月 社掌佐伯敬治写、三冊ノ第三	罫紙袋綴 24×18 16枚
④ 2 1 4 9	卷数、由来縁起等上申ノ写 明治28年(1895)7月 江戸時代の事例集録	袋綴3冊 24.4×18.5他 9・12・9枚
④ 2 1 5 0	前立社壇ニテ恒例祈祷臨時祈祷証書写 明治28年(1895)7月 社掌佐伯敬治写、三冊ノ第二 江戸時代の事例を集録	罫紙袋綴 24×17.5 52枚
④ 2 1 5 1	立山参拝社則 明治28年頃(1895) 越中国立山社務所	一紙印刷物 24×35.5 1
④ 2 1 5 2	社寺調査事項書上 明治28年(1895)6月 社司梅野安輝	袋綴2冊 24×18 4・4枚

④ 2 1 5 3	雄山神社神領寄進地、社頭造営等証書写 明治28年(1895)7月 社掌佐伯敬治写、三冊之第一	罫紙袋綴 24×18 6 4 枚
④ 2 1 5 4	雄山神社前立社壇旧蹟建物並宝物取調上申控 明治28年(1895)6月	袋綴2冊 24×17.2 8・1 1 枚
④ 2 3 1 1	官祭大祭祝詞附征清全勝講和祝祭文 明治28年(1895)	袋綴 24.3×17.8 4 0 枚
④ 2 3 3 1	雜括、日蝕皆既談他 明治29年(1896)8月9日 佐伯敬治	袋綴 24.5×18 2 7 枚
④ 2 1 5 6	室所山詰繰合せ依頼状 明治 8月19日 佐伯竜男→佐伯正範、芦峯寺	切紙 15.7×52.0 16.2×38.8 2 枚
④ 2 1 5 7	稚児舞ノ覚(仮題) 明治 大兒子舞、庭會津庭津武度々々ノ段	切紙 17.7×32.5 2 枚
④ 2 1 5 8	雄山神社拝参人主附村銘簿	罫紙袋綴 24.4×18 5 枚
④ 2 1 6 0	立山峯鎮座雄山神社へ参拝人数御届書 明治30年(1897)12月22日 7/23~9/4	罫紙綴 24×18 6 枚
④ 2 1 6 1	氏子惣代兼信徒惣代権限細則 明治30年(1897)7月 雄山神社社司梅野安輝	罫紙袋綴3通 24×18 4・3・4 枚
④ 2 1 6 2	全国神職同志会領収書 明治30年(1897)11月	切紙等 18×29.3他 3 枚
④ 外11	奉納状、錦旗巻流 明治31年(1898)4月8日 東京三田春日神社々掌三笠教恩	一紙、并包紙 46.8×75.3 2
④ 2 3 3 2	神道要領講義初編 明治31年(1898)11月 敬治佐伯玄清写	罫紙袋綴 27.3×19.5 7 4 枚
④ 2 3 3 3	仏教大原則、真言宗雲照律師之演述 明治32年(1899)6月	罫紙袋綴 24.3×18 1 6 枚
④ 2 1 6 4	本年開山協議原案 明治32年(1899)7月 社司梅野安輝	袋綴 18×24.5 3 枚
④ 2 1 6 5	峯社務所詰権限委任状、他 明治32年(1899)7月26日 社司梅野安輝→社掌佐伯敬治	一紙他 24×36.5他 6 枚
④ 2 1 6 6	雄山神社前立社壇由緒建築物図面取調上申書 明治32年(1899)2月20日 社掌佐伯敬治撰	罫紙袋綴 24.2×18.5 1 1 枚
④ 2 1 6 7	雄山神社由緒建築物図面取調上申書 明治32年(1899)2月20日 峯本社	罫紙袋綴 24×18 8 枚
④ 2 1 6 8	雄山神社前立社壇宝物観覧料徴収願一括 明治33年(1900)6月 含前立社壇所蔵宝物図絵	罫紙封筒6通 24×18他 6

② 2 1 6 9	雄山神社開基千二百年祭執行関係一括 明治33年(1900)7月1日 二百年毎に開催	一紙他7通 21×28.5他	7
② 2 1 7 0	雄山神社式百年毎開帳式執行関係 明治33年(1900)	罫紙封筒等3通 28.5×20.5他	3
② 2 1 7 1	参会者氏名控(仮題) 明治33年か(1900) 千二百年祭か	長帳 12×36	4枚
② 2 1 7 2	社録家録ノ請願他雄山神社諸綴 明治31~35年か(1898~1902) 氏子惣代佐伯豊成 由緒、建築物図面、家録社録復録願、寄附金募集願等	袋綴 24.5×18	161枚
② 2 3 3 4	慈興院大徳寺由緒記他 明治34年(1901) 開祖佐伯有若、在経田村	印刷物袋綴 24×16.5	20枚
① 外12	県社雄山神社祈願殿大宮若宮御由緒調査書 明治35年(1902)3月10日 国幣社加列ノ義ニ付願扣・芦峯寺村。裏表紙共四拾七紙	罫紙袋綴1冊 27.7×20.2	
① 外13	観覧料徴収之儀ニ付願(案文)	立山村罫紙1枚	1
② 2 2 1 3	五穀成就報祈会并老末御蔭講氏子芳志控 明治36年(1903)11月 氏子23ヶ村分	各一紙 30.7×20.4他	23点
② 2 2 1 4	五穀成就報祈会并老末御蔭講諸記録 明治36年(1903)11月1日 社掌佐伯敬治、奉納領収帳、氏子各村諸待人交名簿、諸入費記	袋綴1冊 24.3×18.2 長帳2冊 36×12	14枚 7・9枚
② 2 3 3 5	神道提要全 明治37年(1904)5月 佐伯敬治写	罫紙袋綴 26.8×19.6	42枚
② 7	奇観、奉幣使登山揮毫、通猷墨書 明治37年(1904)夏 富山県警察本部長 久保通猷	一紙 30.0×41.0	1
② 2 1 7 3	雄山神社前立社壇建物調書 明治37年(1904)10月 附属写真六葉とあるが所在不明	袋綴 27.4×20.2	17枚
② 2 1 7 4	立山講社決定証書控 明治38年(1905)	一紙 24×35.7	1
② 2 3 1 2	祝詞草案 明治38年(1905) 佐伯治重	袋綴 25×18	34枚
② 2 3 1 3	鎮土公并上棟祭式	袋綴 24×17.5	2枚
② 2 3 1 4	出原温泉祝詞	一紙 23.8×35	3枚
② 2 1 7 5	雄山神社社掌佐伯治重上京聞届状 明治40年(1907)6月 富山県知事	罫紙 26×18.4	1枚
② 2 1 7 6	奉幣神盃台帳、立山社務所 明治40年(1907)7月	袋綴 24×18	150枚

㊦ 2 1 7 7	社務諸綴 雄山神社社務所 明治40・41年(1907・1908) 戦利品受納、特別保護建造物制札建設、国有土地社地組替申請地	袋綴 24×18 6 4 枚
㊦ 2 3 3 6	神祇令講義全 明治41年(1908)3月 井上博士述、佐伯治重写	罫紙袋綴 24×18.2 3 4 枚
㊦ 2 3 3 7	天津祝詞考全 明治41年(1908)7月 文化12年平田篤胤撰書、佐伯治重写	袋綴 24.2×18.2 2 0 + 1 枚
㊦ 2 1 7 8	奉幣受納簿、立山峰社務所 明治42年(1909)7月	袋綴甲乙2冊 24.6×18 甲59・乙269枚
㊦ 2 1 7 9	前立社壇境内枯損木伐採ノ件 明治44年(1911)8月他 明治42、44、大正11、15	罫紙 26×18他 5 枚
㊦ 2 2 1 5	神職佐伯敬治履歷書他 明治43年(1903)10月 上新川郡役所の指示により提出	関係書一括袋綴 28×18 1 3 枚
㊦ 2 3 3 8	神道修養論全 明治44年(1911)5月5日 佐伯治重写	罫紙袋綴 24.5×18.2 1 6 枚
㊦ 2 3 3 9	神道論全 明治44年(1911)春 佐伯治重写	罫紙袋綴 23.8×17.7 5 8 枚
㊦ 2 1 8 0	保存金下付願、雄山神社前立社壇本殿修理 明治45年(1912)5月	罫紙 29×36.5 4 枚
㊦ 2 1 8 1	特別保護建造物修繕之儀ニ付願他 明治45年(1912)5月10日 県社雄山神社社司梅野安輝発、内務大臣原敬宛	罫紙袋綴 26.5×19.5 1 6 枚
㊦ 2 1 8 2	奉務規定及職務注意事項綴 大正2年(1913)	罫紙袋綴 24.5×18 1 4 枚
㊦ 2 3 4 0	神職講習筆記之概要、第壹回 大正2年(1913)2月	袋綴 24×17.5 2 0 枚
㊦ 2 3 4 1	国学入門全	袋綴 23.8×18.2 1 7 枚
㊦ 2 3 4 2	日本人種論	袋綴 23.6×17.4 2 8 枚
㊦ 2 3 4 3	思問論	袋綴 24×16.4 1 4 枚
㊦ 2 3 4 4	皇室典範、帝国憲法	袋綴 24.3×18 1 6 枚
㊦ 2 1 8 3	社務記録草稿 大正3年(1914)10月 大正5年4月迄	袋綴 25×18.5 3 3 枚
㊦ 2 1 8 4	県社雄山神社社記編纂集会記事 大正4年(1915)3月17日 御大典記念事業	袋綴2冊 24×17.5他 9・3枚

㊦ 2 2 1 6	大嘗祭村社執行日割記等 大正4年(1915)11月	袋綴 25.2×18.8 9枚
㊦ 2 2 1 7	秋季祭典執行日記 大正4年(1915) 社務社掌佐伯敬治	袋綴 24.8×18 6枚
㊦ 2 2 1 8	神社明細帳、太田村中屋神明宮 大正4年(1915)	罫紙 27.7×39.4 3枚
㊦ 2 1 2 1	除禍祈願祝詞(仮題)	一紙 24×34.7 1
㊦ 2 1 2 2	祝詞案文、県社雄山神社神前(仮題) 社掌佐伯等	一紙 24×35 1
㊦ 2 1 2 3	明治天皇祭祝詞案文 社掌佐伯等	一紙 24.5×35.5 1
㊦ 2 1 2 4	祝詞、雄山皇神前佐伯有義祈願(仮題)	一紙 24×35.5 1
㊦ 2 1 8 5	日誌、佐伯治重 大正7、8年(1919)7月 主として峯本社勤務	横半帳 18.2×12.2 13枚
㊦ 2 2 1 9	受持村氏子資金穀寄控簿 大正8年(1919)12月	長帳 36.3×12.2
㊦ 2 2 2 0	氏子惣代撰挙関係	切紙等 59枚
㊦ 2 1 106	第二回祭式講習会講師囑託状 大正5年(1916)8月26日 佐伯治重	罫紙 26×18.8 1
㊦ 2 1 107	立山営業関係連絡状 明治、大正 2通	罫紙2通 34.5×24.3他 3枚
㊦ 2 3 1 7	祝詞集録 大正9年(1920)10月 大松新神明社遷座仮殿祭祝詞他	袋綴 24.6×18.6 34枚
㊦ 2 1 8 6	会計簿(仮題) 大正9年(1920) 峯本社か 7/14~9/6	袋綴 24.5×18 5枚
㊦ 2 1 8 7	県社岩峯宮拜殿屋根瓦下修繕関係綴 大正9年(1920)9月 設計書、契約書、大樫売渡書等	袋綴 24.5×18 9枚
㊦ 2 1 8 8	特別保護建造物大修繕願並工事設計書 大正10年(1921)11月 雄山神社前立社壇本殿	罫紙綴 23.5×17.4 11・1枚
㊦ 2 1 0 7	前立社壇本殿修理の工事委託願他一括 大正12年(1923)6月	罫紙等袋綴 27.8×19.8 7枚
㊦ 2 1 0 8	多賀坊略代書 大正12年(1923)8月 佐伯多二間写	罫紙袋綴・封筒 24×18 2枚

② 21 89	雄山神社前立社壇本殿遷座祭等記録 大正12年(1923)10月24日	袋綴 24.6×18.3 8枚
② 21 90	大正拾貳年度精算 大正12年(1923)9月21日	袋綴 24.3×18.2 12枚
② 21 91	立山鎮座雄山神社前立社壇 大正14年か(1925) 社掌佐伯治重提出	罫紙袋綴 23.2×17.5 7枚
② 21 92	雄山神社由緒等調書 大正14年(1925)7月 佐伯治重控	袋綴 24.4×18.2 12枚
② 21 93	雄山神社昇格請願書 大正14年(1925)10月	袋綴 24.7×18.0 15枚
② 21 94	東宮御歌碑記 大正14年(1925)11月 富山県知事岡正雄撰	半罫紙 24.3×18.3 2枚
① 外14	寄金奉告詞 大正14年(1925)4月 立山村より一千元奉納。社司梅野安輝、郵便封書入	一紙 48×57.5 1
② 21 95	県社雄山神社社務所新築許可状(写) 昭和3年(1928)11月12日 富山県知事	一紙 24.4×36.5 1
② 21 96	県社雄山神社昭和四年度収支予算認可状 昭和4年(1929)6月17日 富山県知事山中恒三	半罫紙 27.5×19.5 1
② 21 97	岩峯伊邪那岐社合併一件 昭和4年(1929)3月	袋綴 26.2×18.6 12+1枚
② 21 98	小立鎮座伊邪那岐社合祀認可状 昭和4年(1929)3月28日 富山県知事	罫紙 27.3×20 1
② 21 99	神社ニ関スル調査 昭和4年(1929)5月 立山村役場、立山諸末社等	罫紙 24.5×18.2他 7枚
③ 21 09	雄山神社元社務所対旧一山契約覚書 昭和5年(1930)3月	罫紙袋綴・表紙 29×20 2枚
② 21 100	雄山神社社務所登録申請 昭和5年(1930)11月8日 社司山田有方他	罫紙 27.8×40 1
② 21 101	県社雄山神社事務引継書 昭和6年(1931) 社司山田有方退職、その他事務整理ノ件	罫紙 25×17.8他 8枚
② 21 102	雄山神社前立社壇宝物登録申請 昭和7年(1932)2月8日 社司平尾久太郎	罫紙袋綴 28×20 2枚
② 21 103	社掌任命ニ関スル御願書 昭和7年(1932)1月	罫紙 26×37 2枚
② 21 104	雄山神社昇格願書附属書ノ件 昭和7年(1932)2月	罫紙袋綴 24.5×18.4 7枚

4. 近代、戸長役場・村・家関係

㊟ 2 2 0 1	納返上米皆済状 明治元年（1868）12月 岩城平右衛門等3名→立山岩嶮寺玉林坊	一紙 24.7×35.2 1
㊟ 2 2 0 2	納返上米皆済状 明治元年（1868）12月 岩城平右衛門等3名→立山岩嶮寺覚乗坊	一紙 24×34.7 1
前 419	覚、御蔵米預り状 明治元年（1868）11月18日 岩嶮寺目代・月番→新堀村兵三郎	一紙 23.0×34.0 （包紙あり） 1
前 420	納返上米皆済状 明治元年（1868）12月 岩城平右衛門等3名→岩嶮寺覚乗坊	一紙 24.0×34.0 1
前 473	作請證文 （明治2）巳（1869）3月 新庄野村嘉七等→岩嶮寺	一紙 23.5×33.8 1
前 474	永代相定申證文之事、釜ヶ淵用水、切広の件 （明治2）巳（1869）3月 末三ヶ野当分肝煎等9名→岩嶮寺衆徒中	続紙 23.5×57.2 1
延 2 4 1	詔書（写） 明治2年（1869）1～12月	各一紙 24.6×35.3 10枚
延 2 4 2	外国交際之義ニ付問題拾七ヶ条他 明治2年（1869） 佐伯治重雜記綴、含日清戦争詔勅	袋綴 24.3×18 35枚
㊟ 2 2 0 3	覚、四ヶ所新開奉願状 巳（明治2）（1869）6・7月 岩嶮寺村目代→朽木兵三郎殿・御扶持人衆・新田才許衆中	続紙 23.5×68 1
㊟ 2 2 0 4	当山領横割等の新開に付再願状 巳（明治2）（1869）8月 岩嶮寺村目代→朽木兵三郎殿	一紙 24×35 1
㊟ 2 2 0 5	横割新開願の返却状 巳（明治2）（1869）8月12日 朽木兵三郎→岩嶮寺目代中	切紙 16×49 1
㊟ 2 2 0 6	買調の旧記書出指示状 巳（明治2か）（1869）10月19日 朽木兵三郎→岩嶮寺村目代中	切紙 16×33.5 1
延 2 4 3	元立山別当岩嶮寺二十四坊建物之状況略図 明治初年（1870） 佐伯延津見記	袋綴 24.5×17 26枚
延 2 4 4	収納関係受取書 明治5年か（1872）6、7月 佐伯敬治宛	切紙2通 15.2×41.4 15.3×17.8 2
延 2 4 5	諸上納金請取書 明治5年か（1872）9月20日 宮路岩嶮村組合長衆中、第六書記所（岡本印）	切紙 14.5×19.2 1
延 2 4 6	徴兵詔書告諭 壬申、明治5年（1872）11月28日	袋綴 24×17.3 3枚
延 2 5 3 9	地方別日本地図 明治	印刷物綴 39×26 14枚

② 25 40	世界地図 明治初年 第二歐羅巴洲を欠く	彩色、ポケット版 16.2×20 5枚
② 25 41	時事年表 (嘉永6～)大正5年(1916)	袋綴 24×17.5 32枚
② 25 42	歌吟辛未歳吉旦 明治4年(1871) 玄貞	長帳 18×12 12枚
④ 423	證岩嶺寺村旧神職締高払下代請取書 明治6年(1873)9月12日 出納係米沢耕多	一紙 23.0×34.0 1
② 24 7	高懸り金請取書 壬申、明治5年(1872)12月1日 中山新、泊新、寺坪新関係、佐伯敬治宛、新川県第六区会所印	切紙 15.2×21.5 15.0×23.2 2枚
② 24 8	収納関係請取書 癸酉、明治6年(1873)1月 佐伯敬治←金山半治、末三ヶ野、東大森等	切紙 15.8×22.7他 3枚
② 24 9	上納金不足分受取書 明治6年(1873)5月2日 佐伯敬治←金山半治	切紙 15×30.3 1
② 24 10	新川県職員録 明治6年(1873)5月 佐伯玄貞	手帳 7.5×16.7 32枚
② 24 11	地祖改正布告留他 明治6年(1873)7月	袋綴 24.7×18 16枚
② 24 12	道源寺村貢米代手形 西、明治6年(1873)10月11日 佐伯敬治←酒井小平	切紙 15.1×23.4 1
② 24 13	明治六年新川県一覧表 明治7年(1874)5月 発行書林西町大橋甚吾	版物一紙 39.7×63 1
② 24 14	新川県管下越中国全図、五十一万八千分之一 明治7年頃(1874)	印刷物 19.5×24.5 1
② 24 15	区会所関係事務連絡状 明治8年頃か(1875)10月7日 佐伯敬治等←金山半治等	切紙 16.4×31 1
② 25 2	記、清書控書 明治9年(1876)8月4日 佐伯敬治←金山茂造	切紙 15.3×20 1
② 24 16	書信 明治11年(1878)5月5日 岩城毅→佐伯敬治、多二間	切紙 14.7×59.9 1
② 24 35	コレラ予防法、石川県報告 明治12年(1879)8月13日	活版印刷 18.5×13.3 5ページ
② 25 3	記、清算控書等綴 明治12、13年(1879) 佐伯敬治←金山半治	切紙4通 15.3×38.4他 4枚
② 25 4	記、清算控書並関係書状 明治14年(1881) 佐伯敬治←金山半治	切紙7通 14.7×37.5他 5枚

④ 25 5	記、清算受取書並関係書状 明治15年(1882)5月 佐伯敬治←金山半治	切紙3通 14.7×39.8他 3枚
④ 24 17	社納米引請代金の義照会 明治16年(1883)8月22日 佐伯敬治等←金山半治	続紙 14.8×58.8 1
④ 24 18	旧義倉金返済書 明治16~20年(1884~1887) 旧義倉金取扱所、佐伯敬治(16~17年)、佐伯治重(18~20年)	各切紙一括綴 25×18 15枚
④ 25 6	記、諸清算控書及書状 明治16、17年(1883) 佐伯敬治←金山半治	切紙5通並折紙 14.7×37.4他 計6枚
④ 25 7	盗難之儀ニ付訴 明治18年(1885)5月5日	罫紙袋綴 24.4×18 13枚
④ 25 8	佐伯敬治家出生年月日表 明治20年(1887)1月	一紙 23.5×32.8 1
④ 25 9	教務綴佐伯治重(仮題) 明治20年(1887)	袋綴 25×18.5 36枚
④ 24 19	戸長役場諸費領収書、岩嶺寺村 明治20年(1887) 秋ヶ島非常費、地方税等	切紙綴 24×12 7枚
④ 24 20	御即位礼勅語	袋綴 24.7×18.5 4枚
④ 24 21	旧義倉金借用返済証 明治21年(1888)8月	罫紙他 33.5×23.3 2枚
④ 24 22	岩嶺寺村修正地価帳調整料領収書 明治21年(1888)2月20日 岩嶺寺村惣代佐伯敬治宛、黒田恒次	罫紙 24×17.8 1枚
④ 24 23	下田村掛作関係清算書 明治21年~23年(1888) 柴田七郎右エ門→佐伯敬治	切紙他 23.8×12.3他 6枚
④ 25 10	金山半治より借入金決済関係 明治21年(1888)	罫紙綴他 24×17.4他 7点
④ 24 24	秋ヶ島用水費領収書 明治22年(1889)9月 用水掛岩田与三郎→佐伯敬治	切紙2通 14.7×21.5 14.7×17.5 2枚
④ 24 25	約定証、釜ヶ淵用水水口移転につき 明治22年(1889)2月19日	罫紙袋綴 24×17.8 2枚
④ 24 26	岩嶺寺等舟橋賃取許可継続願の件 明治22年(1889)8月4日 岩嶺寺元派出用係佐伯敬治←岩嶺寺村代表7名	切紙 14.7×36 1
④ 25 11	書状、連借清算の件 明治24年(1891)5月 佐伯敬治←金山半治、佐伯有久、多二間関連	封書5通 15.5×30.7 5枚
④ 25 12	軍事公債応募連絡状 明治27年(1894)9月 日本銀行富山代理店	印刷紙 18.2×36.7 17.7×35.9 2枚

② 24 27	岩嶺寺横江野開間道路改修中勘金領収書 明治28年(1895)4月5日 上新川郡町村組合収入役←佐伯敬治	規格紙 23.9×17.7 1
② 24 28	岩嶺上滝間橋梁架設株保証金返戻領収書 明治28年(1895)12月 明治24年5月預入	罫紙 23.8×17.5 1
② 25 13	常東人車鉄道名誉願人押印證明書 明治29年(1896)12月22日 佐伯敬治、袋入	定形印刷紙綴 24×35 2枚
② 25 14	輪島家具購求融通講認可状 明治31年(1898)12月7日 富山県知事、安川喜多次宛	罫紙 27.6×19.6 23.7×35.3 2枚
② 24 29	村長ノ不法行為ニ対スル上申書 明治34年(1901)10月15日 雄山神社社掌発、富山県知事	罫紙袋綴 24×18 7枚
② 24 30	開戦詔勅 明治37年(1904)2月10日	罫紙袋綴 24.3×18 9枚
② 25 43	日記他、明治41年 明治41年(1908)	18.5×13.5
② 25 25	観維新志士遺墨展有感百三十韻 明治43庚戌(1910)春	袋綴 24.2×17.7 4枚
② 25 26	筆法、佐伯治重	袋綴 24.5×18 10枚
② 25 27	日誌一号 明治43、44年(1910、1911) 佐伯治重	20×14.3
② 25 15	会計日記簿 明治44年(1911)11月 大正元年6月迄、延命院私用	長帳 34.5×11.8 45枚
② 25 16	書信、金山従革→佐伯敬治他 明治	罫紙2通 18.5×60.0 18.5×137.5 2
② 25 17	書信 佐伯範一出	切紙2通 16.0×52.3 16.1×37.4 2
② 24 32	践祚の勅語、他 明治45年(1912)7月3日 明治天皇大喪関係	袋綴 24.5×18.3 28枚
② 25 18	学校教則綴(仮題) 明治 佐伯治重、末三ヶ分校印押印	袋綴 24.5×18.5 65枚
② 25 19	雑記綴、佐伯治重	袋綴3冊 24×18.5他 74・25・50枚
② 25 20	佐伯治重諸留 峯本社棟札、教師注意他	袋綴 24.5×18.4 24枚
② 25 21	佐伯治重蔵書目録	袋綴2冊 24.7×18.4 10枚 24.5×17.4 21枚

② 2 5 4 4	佐伯敬治喜寿記念鳩杖贈呈式 大正2年(1913) 立山村養老会	折紙	37×52.5	1
② 2 5 2 8	日誌二号 大正2年(1913)		20×13.7	
② 2 5 2 9	日誌三 大正3、4年(1914、1915)		20.2×14.5	
② 2 4 3 4	旧社僧坊院一覧 大正3年(1914)		24.2×18.2	5枚
② 2 5 2 2	修学旅行の感想 大正5年(1916) 第5年級佐伯某	袋綴	24.5×18.2	8枚
② 2 5 2 3	新聞論題十七条 佐伯敬治用	2冊	19.8×15.6 24.2×17.3	13枚 12枚
② 2 5 2 4	改正五経字引 佐伯敬治用	出版物	12.5×8.8	
② 2 5 3 0	日誌四 大正5、6年(1916、1917)		20.4×14.5	
② 2 5 3 1	日誌五号 大正7、8年(1918、1919)		20.3×14	
② 2 5 3 2	日誌六号 大正9、10年(1920、1921)		20×14	
② 2 5 3 3	日誌七号 大正11、12年(1922、1923)		20×14	
② 2 4 3 3	瓦代金月賦返済借用証書 大正13年(1924)12月 岩嶽寺村→瓦共同購入会	野紙	24.2×36.1	1
② 2 5 3 4	日誌八号 大正13、14年(1924、1925)		19.8×13.6	
② 2 5 3 5	孫養子学資支出簿 昭和2～5年(1927)	野紙綴	23.6×17.5	4枚
② 2 5 3 6	備忘日誌 昭和3、4年(1928～1929)	横半帳	12.3×18.4	23枚
② 2 5 3 7	日記 昭和6年(1931)1～3月	袋綴	24.5×18.5	12枚
② 2 5 3 8	見聞誌并雑種綴 昭和8年頃(1933) 佐伯重治	袋綴3冊	12.5×18他	15・13・16枚
③ 2 2 0 1	秀堂傑作選集 昭和7年(1932)6月作成	帙入袋綴	23.4×16.4	1冊

5. 絵図・版物類

前絵 10	岩峯寺同坊中並寄進地等見取略絵図（彩色） 宝永5 戊子（1708）10月17日	41.0×55.5 1
前絵 11	岩峯寺同坊中並寄進地等見取略絵図 七間割山嶋直売地など表示	44.0×45.0 1
前絵 17	岩峯寺神領地全図（彩色） 端書に「當山絵図面往昔ヨリ衆徒之意得之如是ニ御座候」	87.0×120.0 1
前絵 8	岩峯寺寺領地及寺地等見取絵図（彩色）	59.0×85.0 1
前絵 18	岩峯寺神領地全図（彩色） 田地異動を記録 絵6と同系	41.0×59.5 1
前絵 6	岩峯寺寺領地等見取略絵図 宮路村茂右衛門へ売渡地などを示す。	58.0×41.0 1
前絵 25	岩峯寺境内並新旧坊中及び神領地全域見取絵図	94.0×158.0 1
前絵 19	岩峯寺同坊中等敷地震災流失箇所見取絵図（彩色） 安政5年の震災による破損箇所等付箋	80.0×107.5 1
前絵 20	岩峯寺同坊中等敷地震災流失箇所見取絵図（控） 万延元 庚申（1860）10月 寺社所へ調達	80.0×107.5 1
前絵 22	岩峯寺神地全域色別絵図（彩色）	83.0×126.0 1
前絵 24	岩峯寺神領地全域略絵図下図	70.0×106.5 1
前絵 2	岩峯寺同坊中御寄進地見取図（彩色）	59.0×29.5 1
前絵 4	岩峯寺寺領地見取下絵図	82.0×63.0 1
前絵 7	岩峯寺社地并居屋舗地御預山截分ニ付分間絵図（彩色） 明治2年（1869）9月 裏書 上新川郡勸農局郡治局	51.0×203.0 1
前絵 外2	立山村神社区域図（写） 雄山神社宮司梅野安輝、立山村長金山從革	続紙 35.0×70.5 1
前絵 3	岩峯寺仁王門六拾分壹設計図 卯 9月2日 射水郡中老田村大工源六	63.0×42.0 1
前絵 5	岩峯寺堂舎配置略図 堂舎の位置は色紙を貼って示す。	45.0×27.5 1

前絵 30	雄山神社前立社壇本殿正面之図	27.0×16.0 1
前絵 31	雄山神社前立社壇本殿妻面之図 絵30・絵31の二図一綴	27.0×16.0 1
前絵 32	神殿厨子正面図	26.0×37.0 1
前絵 26 27	雄山神社前立社壇境内建物配置絵図 明治15年(1882)11月 越中国上新川郡岩倉村字岩坂 5反1畝7歩	28.0×80.0 同類2枚
前絵 外1	雄山神社正面図 縮尺500分の1	青焼一紙 40.0×55.0 1
前絵 12	立山大権現支配地並岩峯芦峯支配境略絵図(彩色) 明和5年(1768)3月	58.0×41.0 1
前絵 13	立山大権現支配地並岩峯芦峯支配境略絵図	58.0×42.0 1
前絵 21	立山大権現支配地絵図(彩色) 「段ヶ原」山記入 絵12・絵13と同種	64.5×53.0 1
前絵 34	五社山所在地 イヲリ村仙石村芦峯寺、右三ヶ村境山ト申聞	24.0×31.0 1
前絵 15	立山大権現敷地全山諸堂巡路等見取絵図 血池・道路を朱書す。	64.5×46.0 1
前絵 16	立山諸末社本地垂跡明細絵図	60.0×39.5 1
前絵 33	越中国立禅定名所所図、別當岩峯寺版 木版刷	60.0×40.0 1
前絵 35	立山略絵図下図	60.0×39.0 1
前絵 36	岩峯寺神領地全域略絵図下図	続紙 68.0×89.0 8枚
前絵 1	立山禅定道路絵図(彩色) 右下隅に「立山岩峯寺同山芦峯寺」と墨書	69.0×33.5 1
前絵 14	立山禅定人芦峯並温泉道通路見取図 天保2年(1831)5月	46.0×32.0 1
前絵 9	立山温泉道等山中道路見取略図	52.0×39.0 1
前絵 23	千手橋式拾分壺設計図 棟梁大工能登穴水西川与三郎筆	46.0×200.0 1

前絵 28	富山県越中国上新川郡立山峯県社雄山神社境内見取絵図 峯々末社名称並境内坪数記入 36社を示す。	39.0×28.0 1
前絵 29	第六大区小五区岩峯寺村芦峯寺村入合県社雄山神社末社境内見取絵図 明治15年(1882)11月	35.0×24.0 2
延 11 13	越中国立山禅定并略御縁起名所附図 宝曆13未(1763)6月 尾張国願主5名、角屋源助版木	図版一紙 56×39
多 11 51	越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺(写) 文久三稔年(1863) (木板裏)金澤開帳砌再板 元永泉坊の蔵板なり	一紙(木版刷)55×39
般 6	岩峯寺村神職中御預山社地等分間絵図(彩色) 明治5壬申(1872)5月	5枚継 53.0×95.0 8枚継 68.0×124.0 2舗
延 21 55	越中国立山諸神社并名所図絵(延命院版) 明治	一紙(木版刷)38×27
多 21 02	越中国立山諸神社并名所図絵(永泉坊版) 明治	一紙(木版刷)46.5×33
延 23 29	中教院神宮教会神殿之図 応真斎守美写之、神道事務局分局	版物一紙 34.4×50.2
延 21 63	立山雄山神社前立社壇境内及境外実測図 明治30年(1897) 社司梅野安輝、六百分ノ一、彩色	一紙 28×40.4
延 24 31	立山村神社区域図 明治42年(1909) 彩色、県法ヲ以テ御達ニ付佐伯敬治	続紙, 彩色 28×79 (前立社壇絵図外2と同じ) 2枚
多 21 04	神社区域図并同写図 明治	続紙, 彩色 28.2×73.3 (前立社壇絵図、外2と同じ) 計2枚
多 21 12	ブナ坂外十一国有林、雄山神社位置図 多角網測量手簿見取図コピー 名古屋営林局境界確定係	表紙・封筒 24.5×19.8 20枚綴
多 21 13	立山諸末社配置図 立山5万分の1図コピー	
般 9	常願寺川官民境界調査実測平面図 岩峯寺市場地内 昭和47年(1972)9月 1:500建設省富山工事事務所	青焼複写 42×124 1
般 10	立山之宝、木版刷	版木 15.8×22.9×1.2 1
般 11	立山大権現供御札、別當岩峯寺般若院、木版刷 裏面刻銘、天三辰(天保3年、1832)幸尊作	版木 36.3×8.1×0.9 1
般 12	立山両権現梵字真言札、阿弥陀心咒九字、不動慈救咒九字、木版刷	版木 26.5×5.8×2.8 1
般 13	鎮火御札、木版刷	版木 18.2×4.6×3.0 1

**越中立山
岩嶺寺文書集成目録**

発行日 平成10年3月31日
編集 立山町郷土資料館
富山県中新川郡立山町五百石100-3
発行 立山町教育委員会
富山県中新川郡立山町前沢2440
印刷 荻生印刷

デジタル化における凡例

1. 本書データは、原本をスキャニングし、作製した画像データの文面上に透明テキストを配したPDFデータである。
2. デジタル化に際し、原本の見返し・奥付裏白頁・裏表紙は割愛した。
3. 当PDFデータの透明テキストはMS-Minchoを使用した。また、原本に使用されている異体字の透明テキストは次の通りである。

原本記述	芦	祇	晦	卿	撰	迄	煎	↔	蝕	猷
MS-Mincho	芦	祇	晦	卿	撰	迄	煎	↔	蝕	猷

4. 原本記述の凡例にある 前・延・多・中・般・前絵 は、記述箇所すべて丸囲いの無い 前・延・多・中・般・前絵 とした。
5. 原本の誤記箇所は、修正した透明テキストを配した。修正箇所は次の通りである。

誤 正

Op11 前114・(1854) ⇒ (1654)

前 114	中納言様祈祷加賀守様所々へ仰付状 (承応3か)(1854)2月19日 長九郎左衛門等6名→岡嶋市郎兵衛・葛巻蔵人	続紙 16.5×50.5	1
----------	--	--------------	---

誤 正

Op12 前130・(1665) ⇒ (1668)

前 130	前立社壇戸帳寄進状 申(寛文8)(1665)8月29日 永原左京・笹原織部→岩嶽寺圓光坊	切紙 17.8×52.6	1
----------	--	--------------	---

誤 正

Op50 延1251・に ⇒ の

延 12 51	覚、中滝村等川原新開に件につき答申 未詳 末尾欠落	一紙 23.5×30	1
---------------	---------------------------------	------------	---